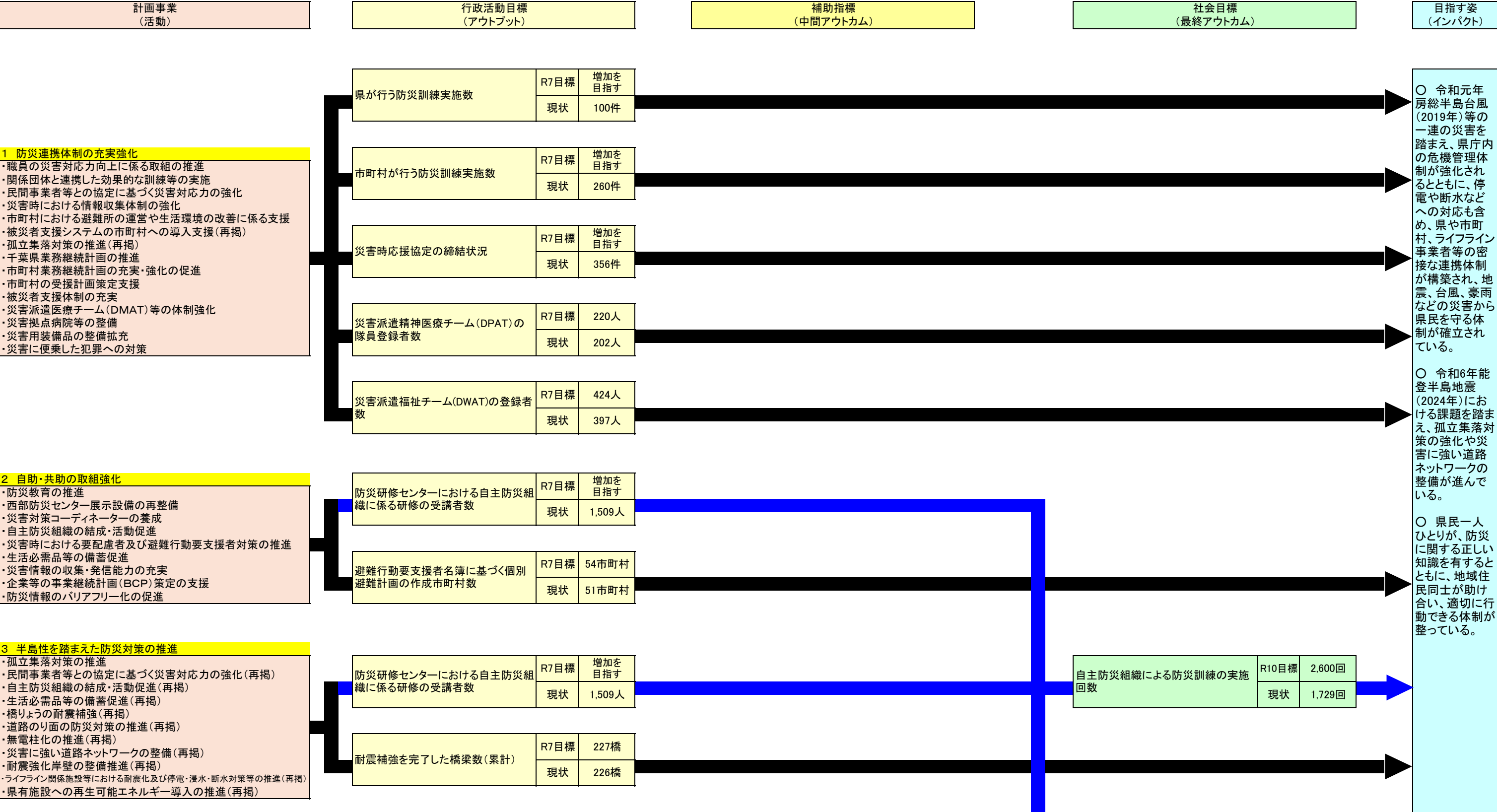
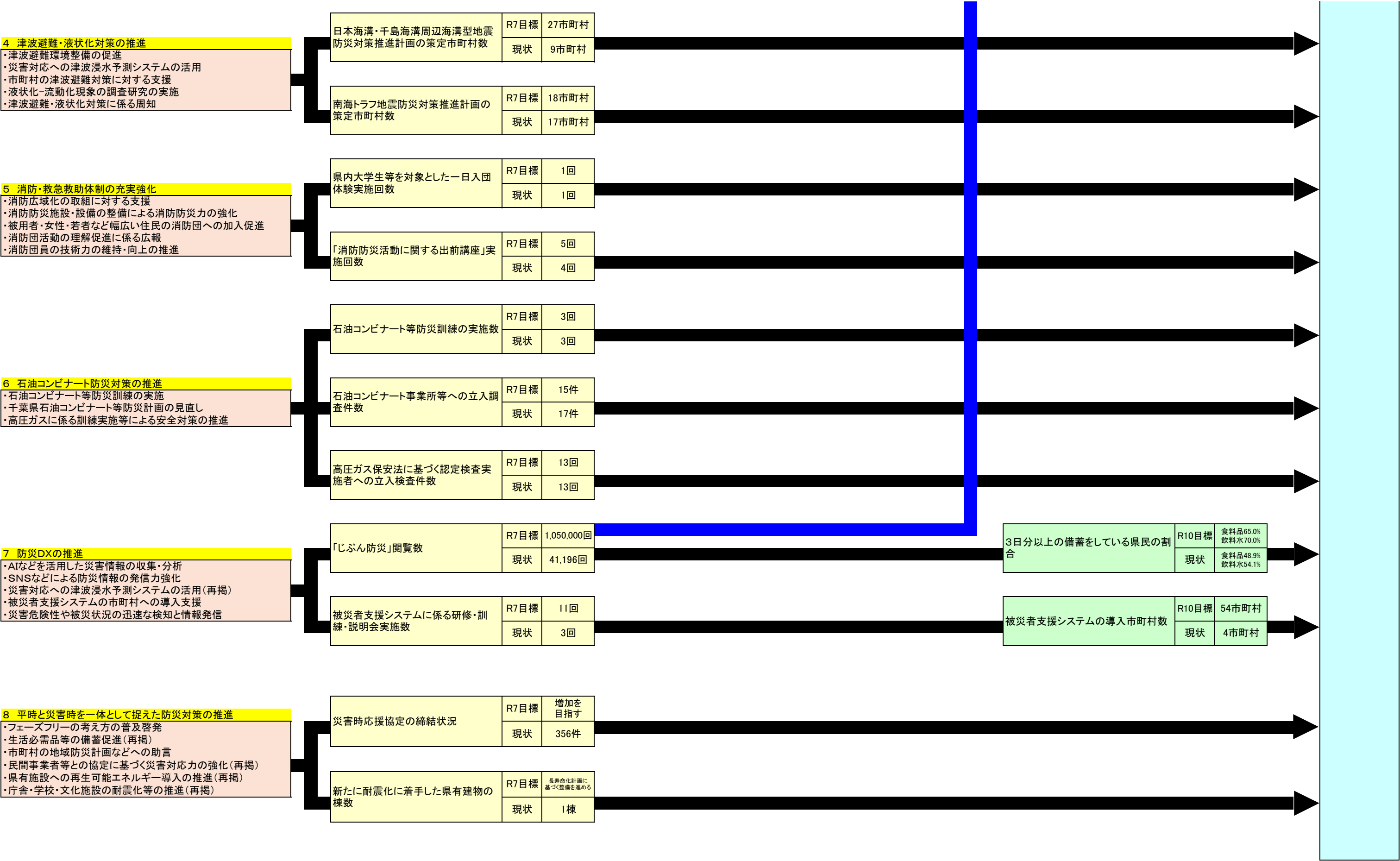


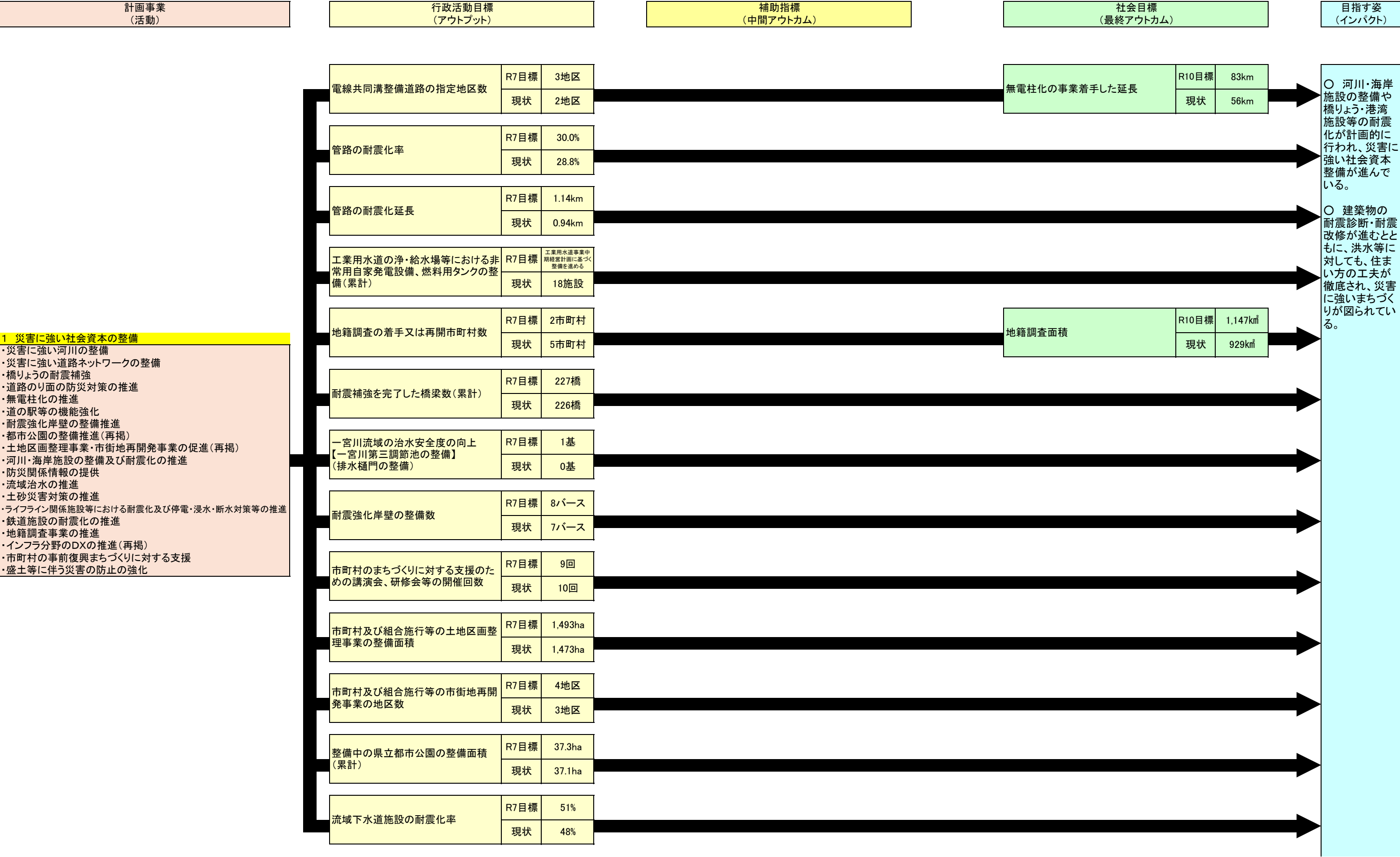
【ロジックモデル】

施策項目Ⅰ－１－① 激甚化する災害への対応力強化





【ロジックモデル】
施策項目 I－1－② 災害に強いまちづくりの推進



2 建築物・宅地の災害対策の推進

・被災宅地危険度判定士・調整員の養成と判定体制の整備

・被災建築物応急危険度判定士の養成と判定体制の整備

・耐震診断・耐震改修技術者の養成

・庁舎・学校・文化施設の耐震化等の推進

被災宅地危険度判定士の登録者数	R7目標	2,032人
	現状	2,032人
既存建築物耐震診断・改修講習会の年間受講者数	R7目標	100人
	現状	87人
被災建築物応急危険度判定士(登録者数)	R7目標	4,000人
	現状	5,410人
新たに耐震化に着手した県有建物の棟数	R7目標	<small>長寿命化計画に基づく整備を進める</small>
	現状	1棟
私立学校校舎等の耐震化	R7目標	向上を目指す
	現状	92.0%

3 農林水産業における災害対策等の推進

・農山漁村の防災・減災対策の推進

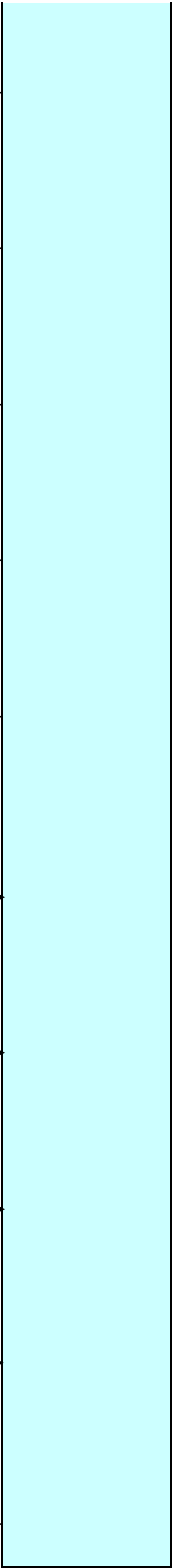
・災害に備える経営の推進

・災害に強い森林づくりの推進

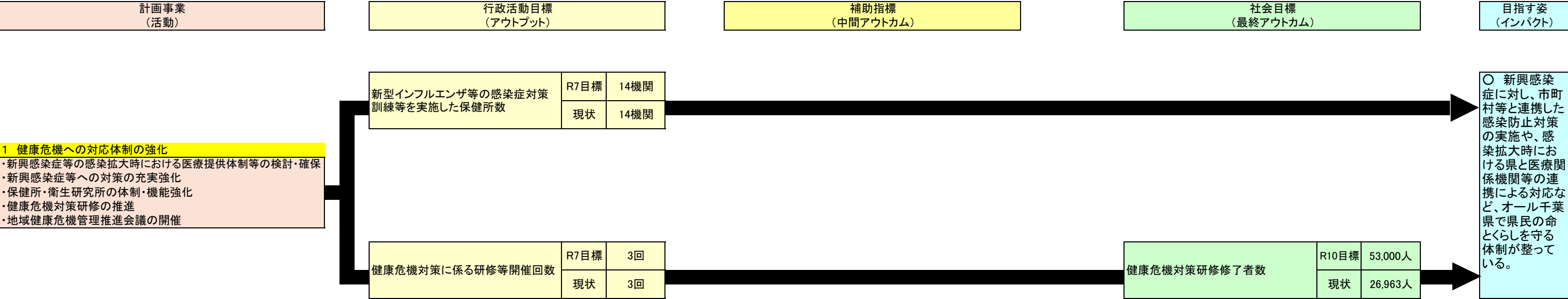
・家畜伝染病に対する防疫体制の強化

・植物防疫対策の推進

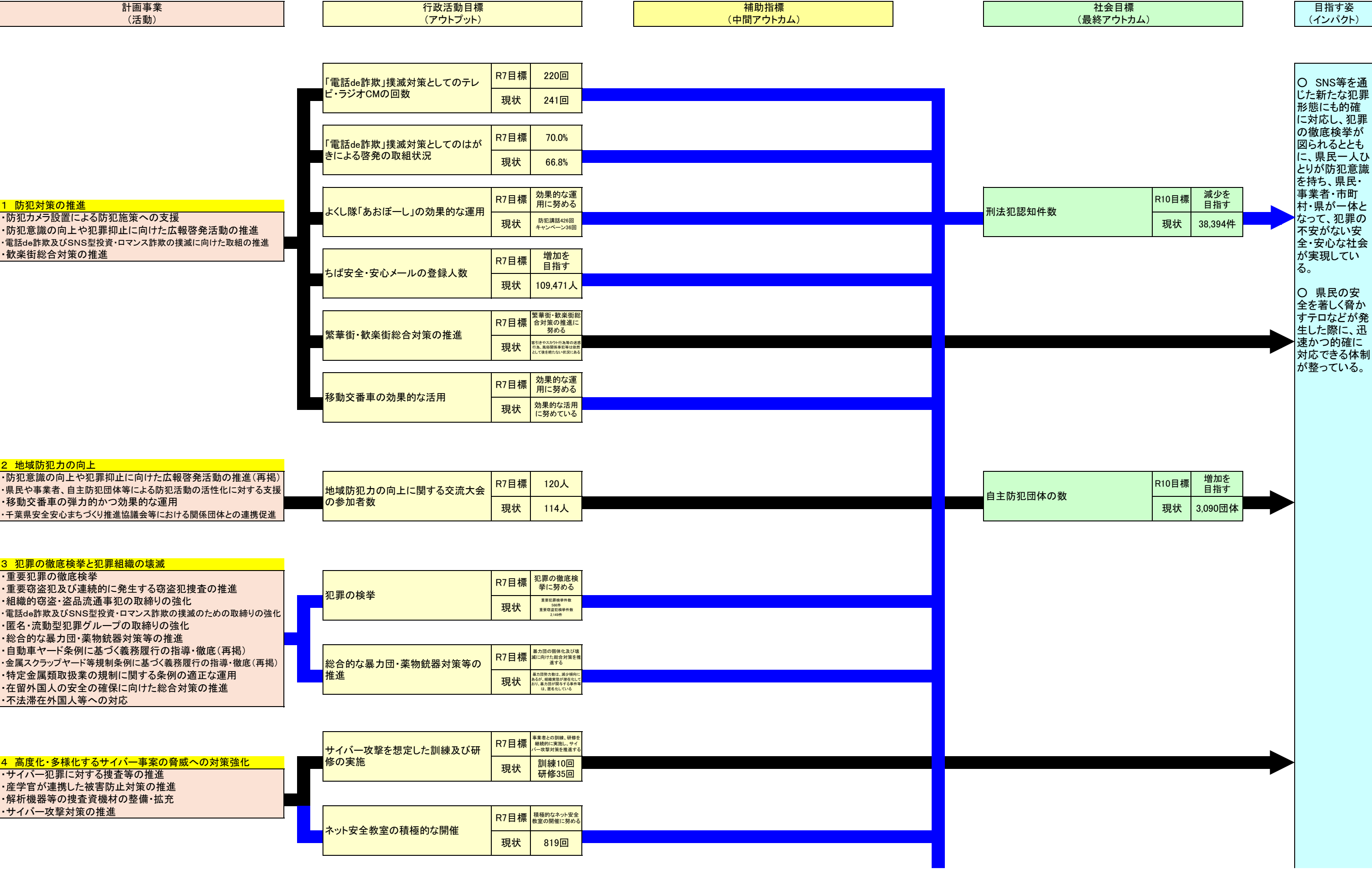
防災対策に着手した防災重点農業用ため池の箇所数	R7目標	17箇所
	現状	16箇所
海岸保全施設整備延長(累計)	R7目標	100m
	現状	0m
道路・電線等の重要インフラ施設周辺の森林整備面積(累計)	R7目標	220ha
	現状	188ha
海岸県有保安林の整備面積(累計)	R7目標	260ha
	現状	239.6ha
家きん飼養農場における巡回指導の実施率	R7目標	100%
	現状	100%
家きん飼養農場における飼養衛生管理基準主要7項目の遵守率	R7目標	96%
	現状	94.7%



【ロジックモデル】
施策項目 I－1－③ 新興感染症等健康危機への対応力強化



【ロジックモデル】
施策項目 I－2－① 新たな犯罪形態にも対応する犯罪の起こりにくい社会づくりと被害者等支援の充実



5 テロの未然防止

- ・不審情報の収集・分析と違法行為の取締りの徹底
- ・「テロ対策ネットワーク・CHIBA」の活動の推進
- ・関係機関と連携した水際対策の推進
- ・テロを想定した訓練の実施
- ・空港等の重要施設に対する警戒警備の実施

「テロ対策ネットワーク・CHIBA」の活動の推進と、官民一体となったテロ対処訓練の実施	R7目標	テロ、ゲリラの未然防止に努める
	現状	訓練:62回

6 警察基盤の整備

- ・警察活動を支える人的基盤の強化
- ・通訳・翻訳機能の強化
- ・各種教養や実戦に即した訓練の推進
- ・通信指令機能の強化
- ・警察捜査のための装備資機材等の整備
- ・警察署・交番・駐在所等の計画的な整備
- ・警察情報通信基盤の計画的な整備強化
- ・警察業務のDXの推進

警察署、交番、駐在所の計画的な整備	R7目標	計画的な整備に努める
	現状	建替設計2交番・6駐在所 建替工事2警察署・4交番・6駐在所
警察活動を支える人的基盤の強化	R7目標	警察活動を支える人的基盤の強化に努める
	現状	警察官10,897人 警察官以外の職員1,228人 非常勤職員434人
各種教養や実戦に即した訓練の推進	R7目標	多様かつ広範な警察業務に対応するため、各種教養や実戦に即した訓練を継続して推進する
	現状	多様かつ広範な警察業務に対応するため、各種教養や実戦に即した訓練を推進した

7 DV・ストーカー防止と被害者支援の充実

- ・DVを許さない社会に向けた啓発・教育の推進
- ・安全で安心できる相談・一時保護体制の充実
- ・こどもの安全確保と支援
- ・DV被害者支援のための体制強化
- ・DV被害者の自立に向けた支援
- ・市町村におけるDV対策の促進
- ・DV・ストーカー事案等への迅速かつ的確な対応
- ・DV・ストーカー被害者等の保護対策の推進

携帯用緊急通報装置の貸出人数	R7目標	被害者等に適時適切に貸出し、保護対策を推進する
	現状	142人

8 犯罪被害者等の支援の充実

- ・犯罪被害者等に対する相談体制・支援の充実
- ・国・市町村・民間支援団体等の関係機関と連携した犯罪被害者等への支援
- ・性犯罪・性暴力被害者に対するワンストップ支援体制の充実
- ・犯罪被害者等支援に従事する者の人材育成
- ・市町村・民間支援団体に対する支援の充実
- ・犯罪被害者等に対する県民・事業者の理解の促進

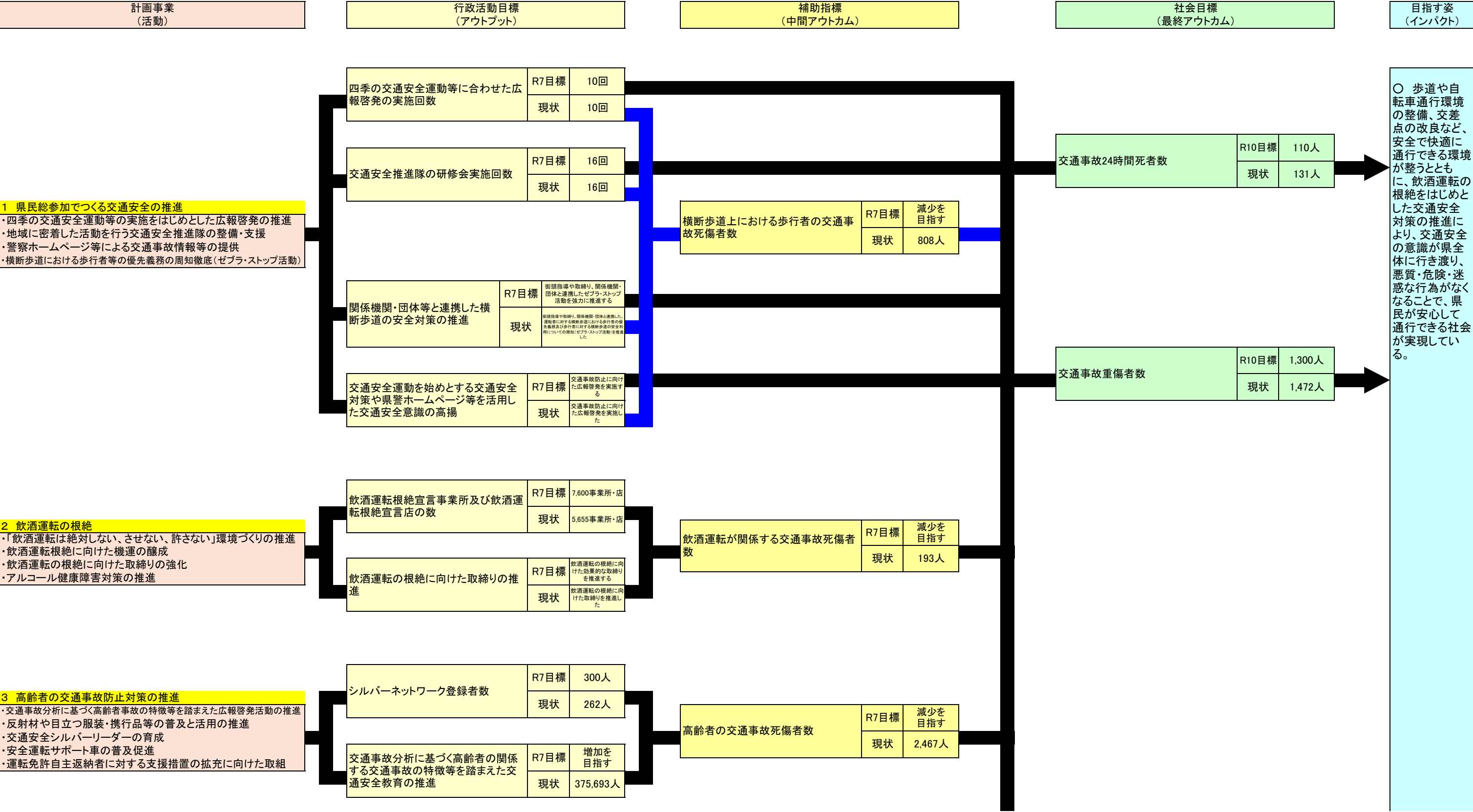
犯罪被害者遺族等の講演会の開催数	R7目標	計画的な開催に努める
	現状	18回
犯罪被害者週間啓発キャンペーン参加者数	R7目標	650人
	現状	602人

9 再犯防止対策

- ・社会復帰に向けた包括的支援体制の整備
- ・県・市町村、国、民間団体の連携強化
- ・薬物乱用防止活動等の推進
- ・暴力団の社会復帰支援
- ・少年の立ち直り支援活動の推進(再掲)
- ・再犯防止に関する啓発活動の推進

再犯防止に係る相談支援の実施人数	R7目標	20人
	現状	10人

【ロジックモデル】
施策項目 I－2－② 「交通安全県ちば」の確立



4 自転車その他小型モビリティの安全利用の推進

- ヘルメット着用の普及促進
- 年齢層に応じた自転車交通安全教育の推進
- 自転車の安全利用に向けた広報啓発活動の推進
- 自転車保険への加入義務化の周知
- 自転車通行環境の整備推進
- 悪質・危険な自転車利用者に対する交通指導取締りの推進
- 小型モビリティの交通ルールの周知と交通指導取締りの推進

スケアード・ストレイト自転車交通安全教室の実施回数	R7目標	13回
	現状	14回
高齢者向け出前講座の実施回数	R7目標	80回
	現状	85回
関係機関・団体等と連携した、自転車利用者のルールの徹底とマナーの向上を図るための効果的な自転車対策の推進	R7目標	関係機関・団体等と連携し、自転車利用者に向けたルールの徹底とマナーの向上を図るための対策を推進する
	現状	関係機関・団体等と連携し、自転車利用者に対しルールの徹底とマナーの向上を推進した

自転車が関係する交通事故死傷者数	R7目標	減少を目指す
	現状	2,965人

5 交通安全教育の充実

- 年齢層に応じた交通安全教育の推進
- 地域や事業所等における交通安全教育の推進
- 警察公式SNSを活用した交通安全教育の推進
- 安全運転管理者等による運転者管理の徹底
- 幼児教育指導者を対象とした交通安全教育の実施
- 外国人を対象とした交通安全教育の推進

交通安全教育推進員の派遣回数	R7目標	68回
	現状	68回
幼児交通安全教育セミナーの参加人数	R7目標	134人
	現状	134人
交通安全教育の効果的な実施	R7目標	効果的な交通安全教育を実施する
	現状	9,018回

6 交通安全環境の整備

- 交通事故多発地点における共同現地診断の実施
- 交通事故調査委員会の開催
- 交通安全施設の整備
- 歩道整備と交差点の改良等による通学路の安全確保
- 広域的な幹線道路ネットワーク等の整備促進(再掲)
- 道路施設の維持管理と長寿命化(再掲)

交通事故多発地点における共同現地診断の実施回数	R7目標	38回
	現状	38回
交通の安全と円滑に資する交通安全施設の整備	R7目標	交通の安全と円滑に資する交通安全施設整備を推進する
	現状	生活道路や通学路における交通安全対策、災害対策や自動運転等に関するロードへの対応を推進している
歩道等の整備延長(累計)	R7目標	1,813.8km
	現状	1,812.8km

7 悪質性・危険性・迷惑性の高い違反に対する交通指導取締りの強化

- 交通事故発生状況等の分析に基づく効果的な交通指導取締りの推進
- 違法駐車対策の推進
- 交通取締用装備資機材の整備・拡充
- 飲酒運転の根絶に向けた取締りの強化(再掲)

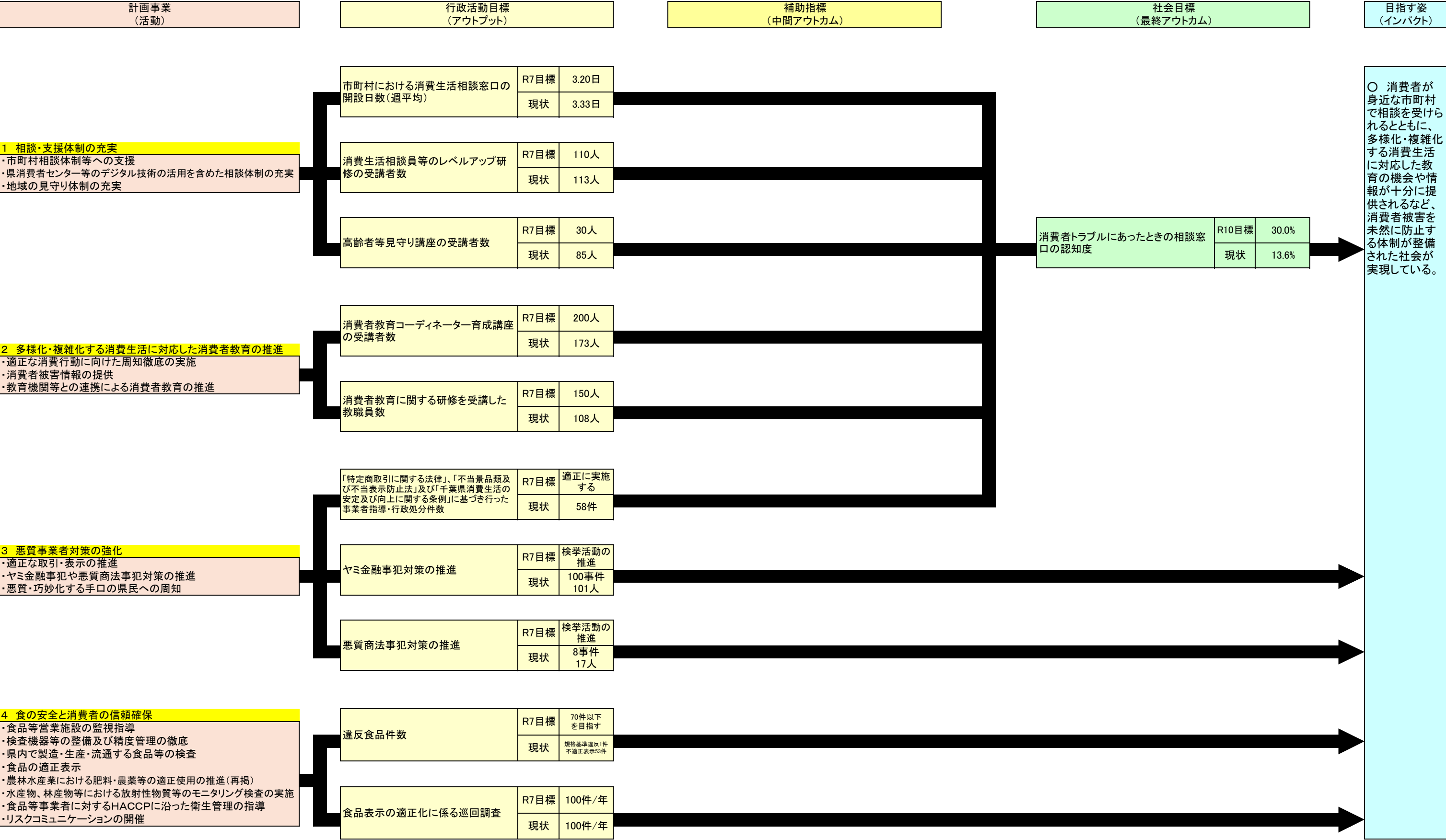
交通事故抑止に資する効果的な交通指導取締りによる交通の安全と秩序の維持	R7目標	交通事故発生状況の分析、原因から導かれる実態等を踏まえ、交通事故抑止に資する効果的な交通指導取締りを推進する
	現状	交通事故の発生状況の分析等を踏まえた交通指導取締りを推進した

8 適正かつ緻密な交通事故事件捜査の推進

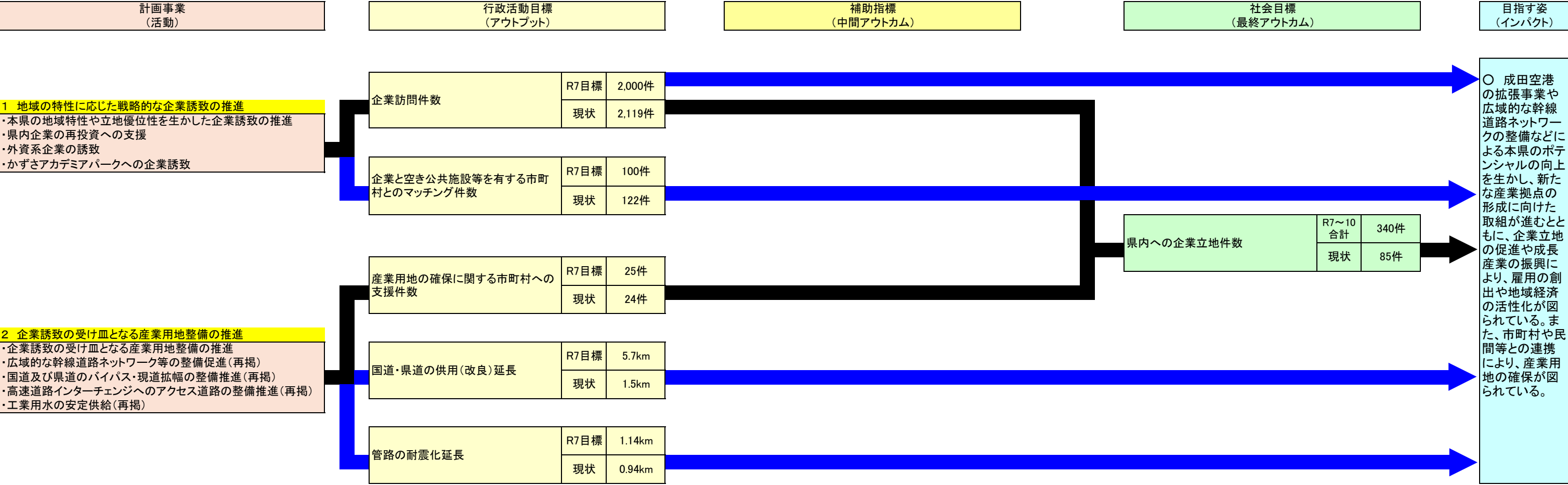
- 危険運転致死傷罪等の立件を視野に入れた適正かつ緻密な捜査の推進
- ひき逃げ事件や交通特殊事件等に対する徹底捜査
- 緻密かつ科学的な交通鑑識活動の推進
- 交通事故事件捜査用資機材の充実

適正かつ緻密な交通事故事件捜査の推進	R7目標	科学的捜査等の客観的証拠に基づく適正かつ緻密な捜査を推進する
	現状	危険運転致死傷罪等の重大事故の立件に努めた

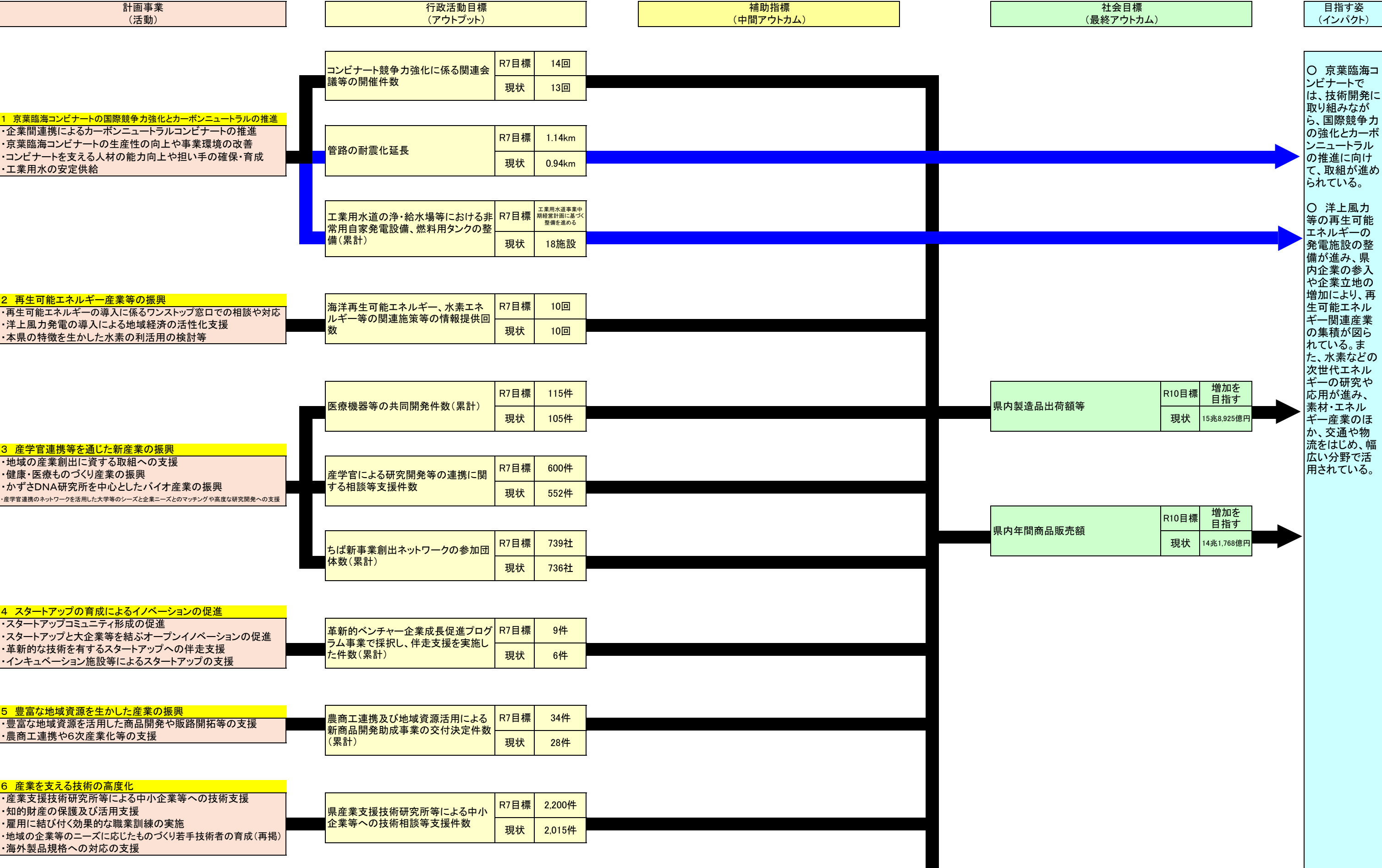
【ロジックモデル】
施策項目Ⅰ－２－③ 安全・安心な消費生活の確保



【ロジックモデル】
施策項目Ⅱ－１－① 新たな産業・地域づくりと企業誘致の推進



【ロジックモデル】
施策項目Ⅱ－１－② 県経済を担う産業の振興と育成



7 県内企業の海外取引・輸出の促進

・中小企業の海外販路開拓支援

・輸出入や海外進出の実務に関する個別相談への対応

・貿易実務や海外の市場動向等を解説するセミナーの開催

・海外に向けたPRと商談機会の創出

・国際ビジネスの専門家による実務支援

海外販路拡大に係る支援件数	R7目標	16件
	現状	17件
海外ビジネスセミナーの参加人数	R7目標	700人
	現状	681人

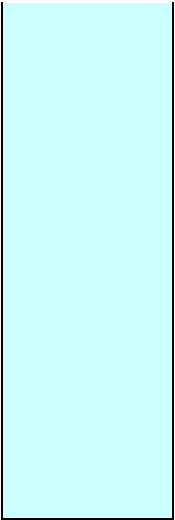
8 MICEの誘致促進と幕張メッセの競争力強化

・公益財団法人ちば国際コンベンションビューローや市町村、MICE関係事業者など関係機関と連携したMICEの誘致・開催支援

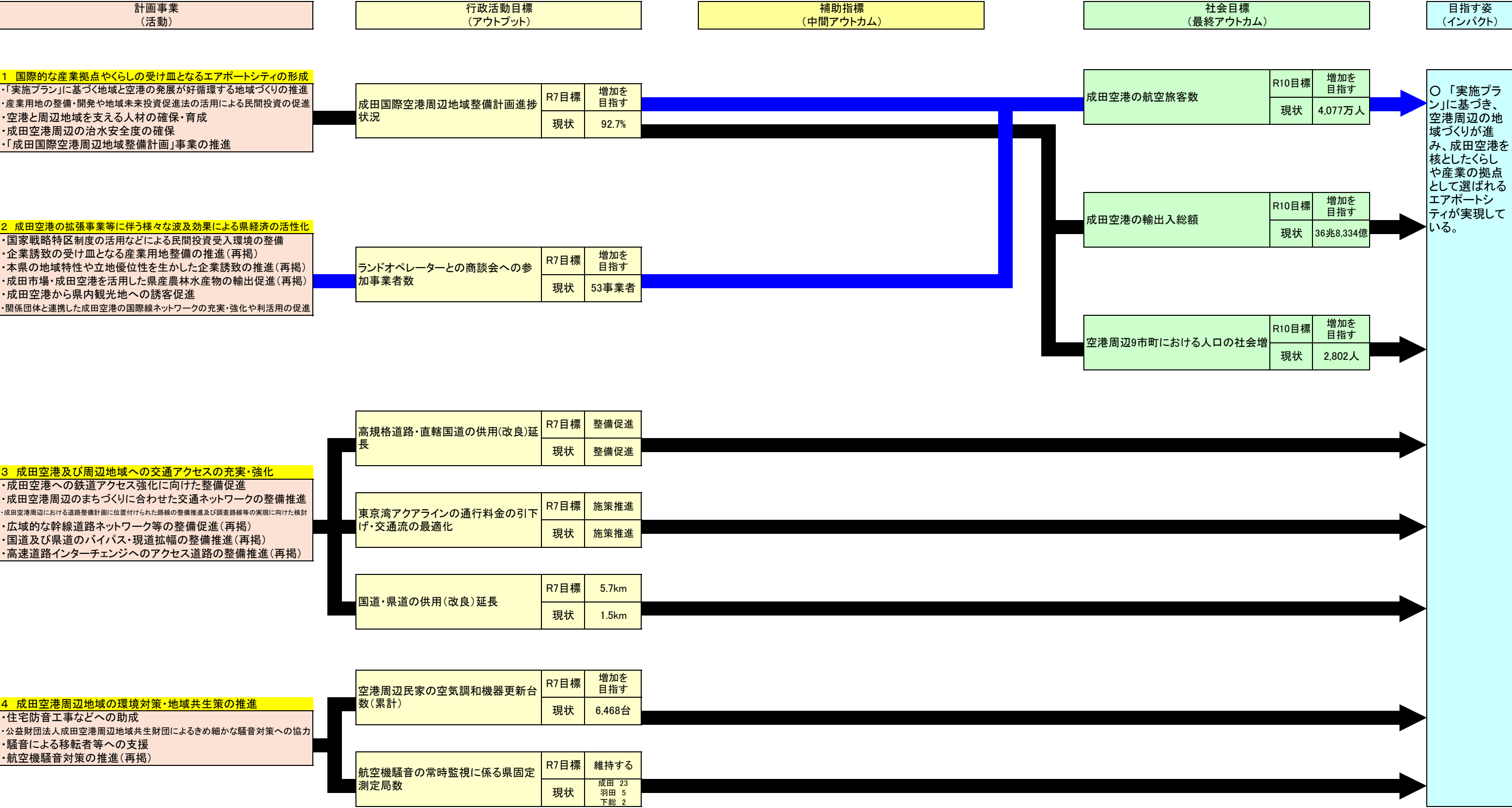
・幕張メッセの機能向上と展示会・イベント等の積極誘致

・幕張メッセ関連企業懇談会や幕張新都心まちづくり協議会等における関係企業・団体との連携促進

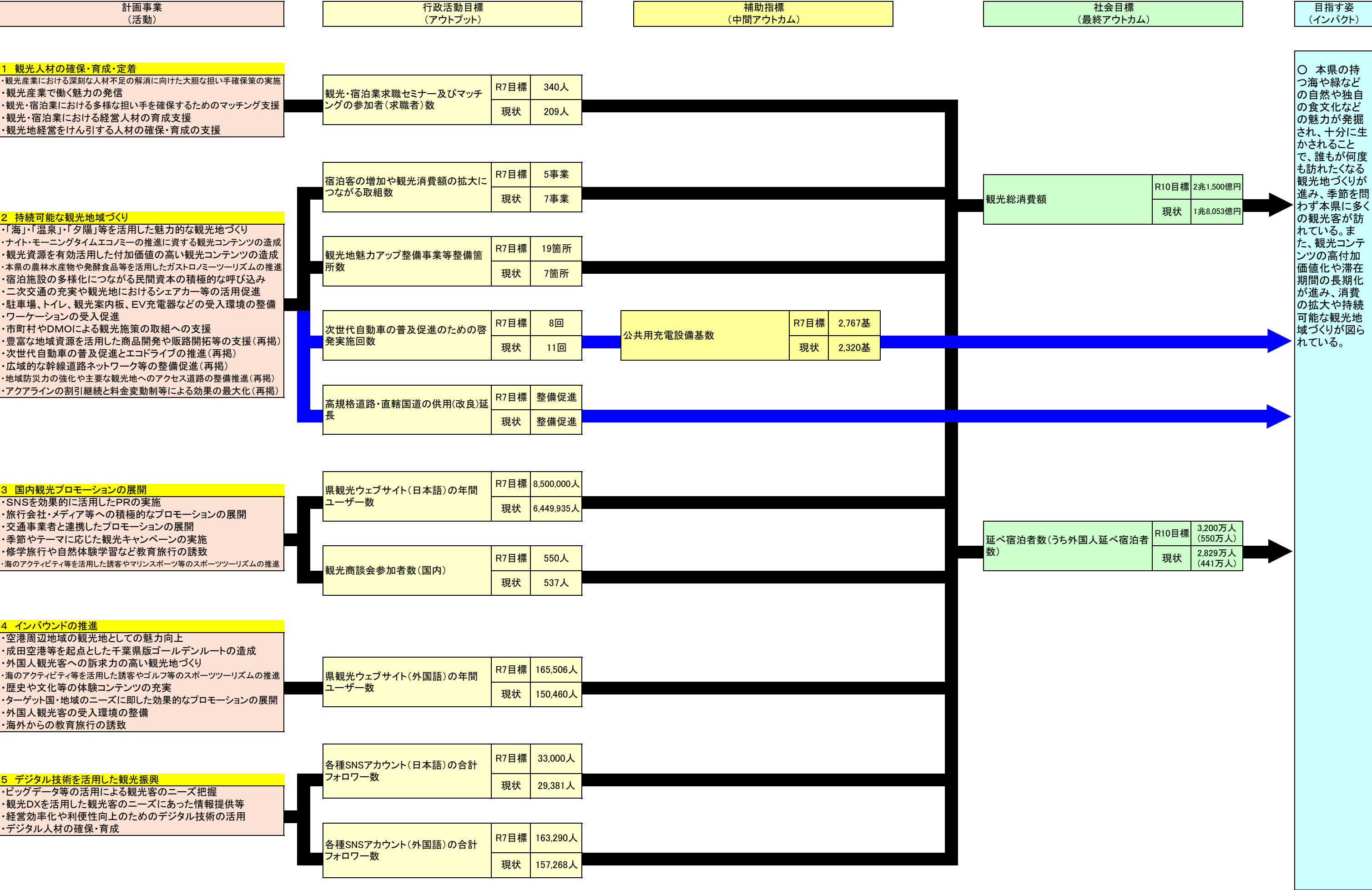
幕張メッセ来場者	R7目標	526万人
	現状	526万人



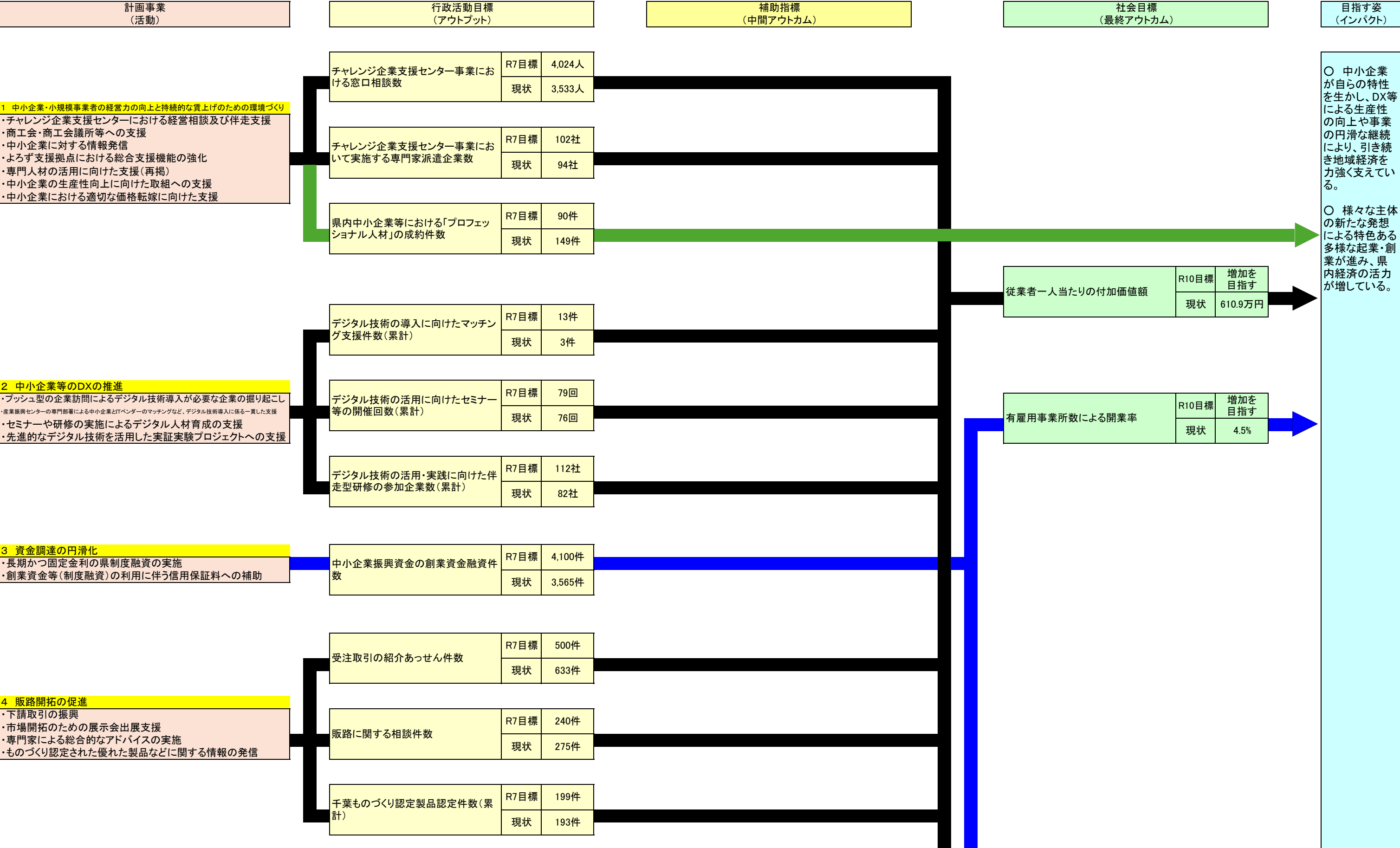
【ロジックモデル】
施策項目Ⅱ－１－③ 成田空港を核とした国際的な産業拠点の形成と地域づくり



【ロジックモデル】
施策項目Ⅱ－１－④ 観光立県の推進



【ロジックモデル】
施策項目Ⅱ－１－⑤ 中小企業・小規模事業者の経営基盤強化



5 起業・創業の促進

- ・チャレンジ企業支援センターにおけるワンストップ支援
- ・イベント等の開催による起業機運の醸成
- ・起業家の育成・経営支援、起業家同士による交流の促進
- ・若年層のアントレプレナーシップ向上支援
- ・創業資金等(制度融資)の利用に伴う信用保証料への補助(再掲)
- ・市町村における創業支援体制の整備推進

チャレンジ企業支援センター事業における創業に関する相談件数	R7目標	369件
	現状	366件
ちば起業支援事業における起業家大交流会の参加者数	R7目標	476人
	現状	387人

6 中小企業等の人材確保・育成支援

- ・中小企業への人材採用・定着支援
- ・外国人材の採用・定着支援
- ・雇用に結び付く効果的な職業訓練の実施(再掲)
- ・在職者への能力開発支援(再掲)
- ・障害者雇用の促進と定着支援
- ・専門人材の活用に向けた支援

県立テクノスクールにおける在職者訓練(ちば企業人スキルアップセミナー)事業の受講者数	R7目標	200人
	現状	163人
技能検定受検者の申請者数(随時実施分を除く)	R7目標	増加を目指す
	現状	2,377人
県内中小企業等における「プロフェッショナル人材」の成約件数	R7目標	90件
	現状	149件

7 事業承継支援

- ・千葉県事業承継・引継ぎ支援センター等と連携した支援強化
- ・市町村・金融機関・商工団体との連携強化

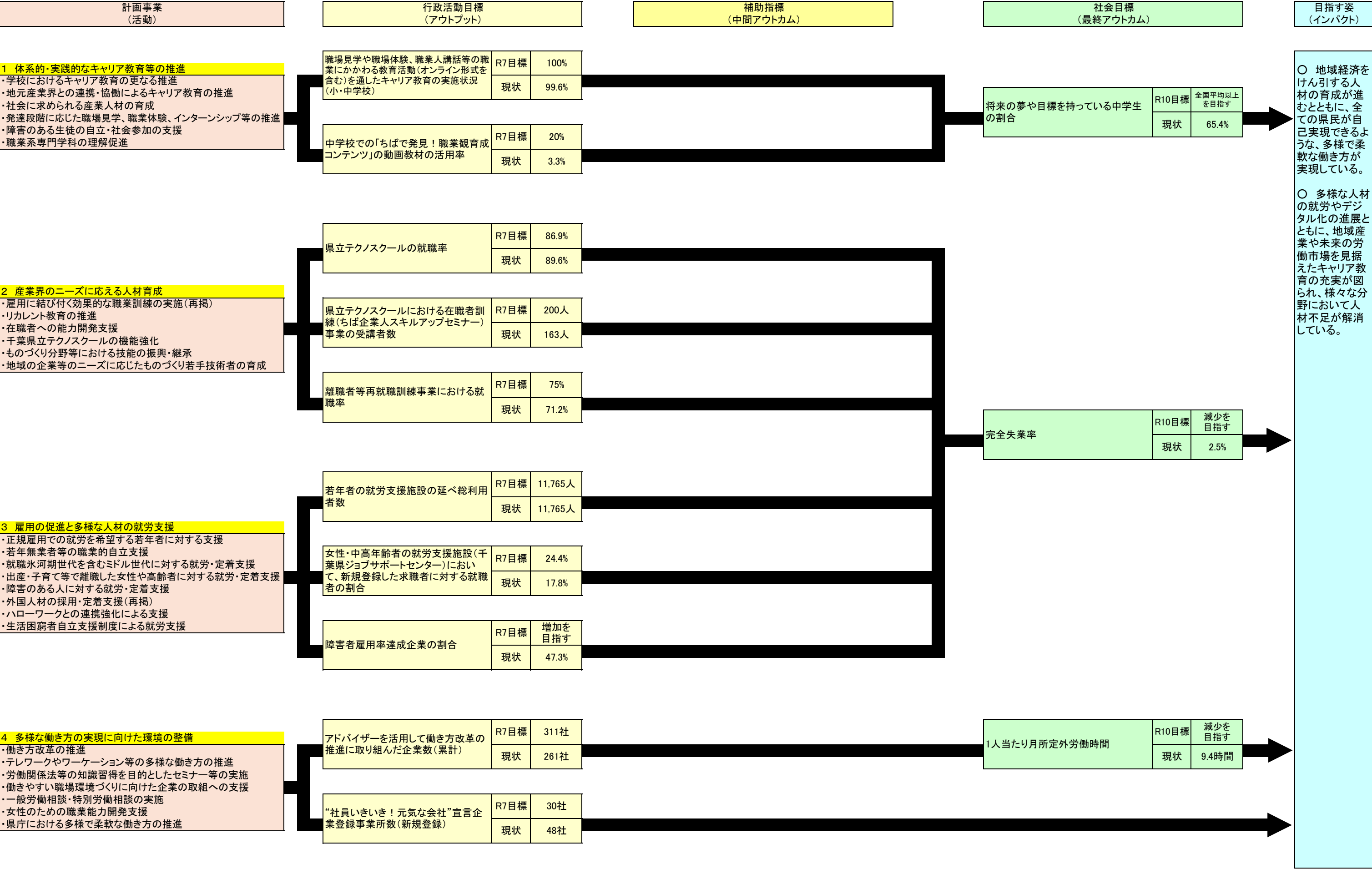
千葉県事業承継・引継ぎ支援センターにおける相談件数	R7目標	797件
	現状	770件

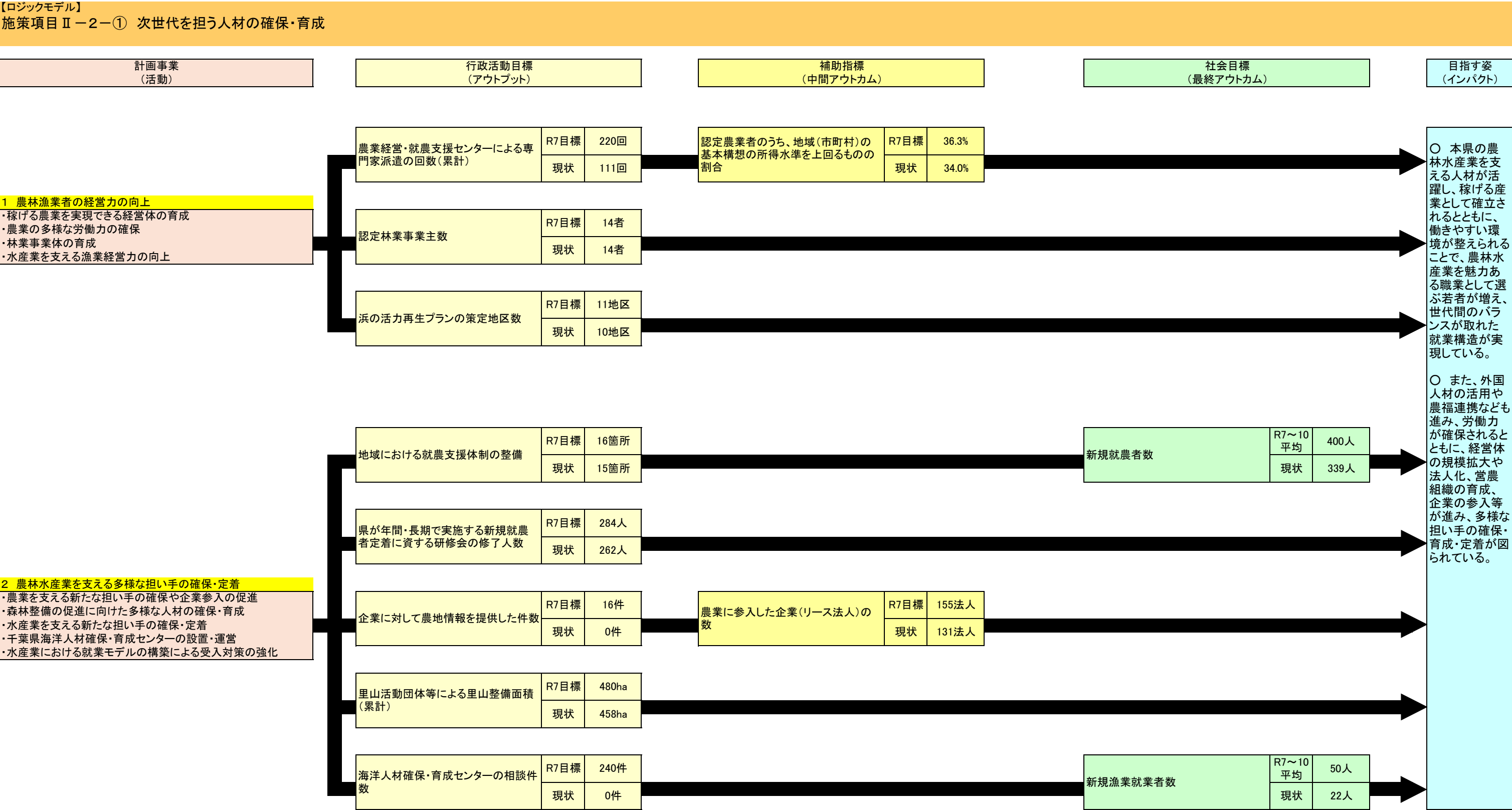
8 商店街の活性化支援

- ・商店街のにぎわいづくりへの支援
- ・商店街若手リーダーの育成
- ・商店街連合組織の機能強化
- ・「商業者の地域貢献に関するガイドライン」による取組促進

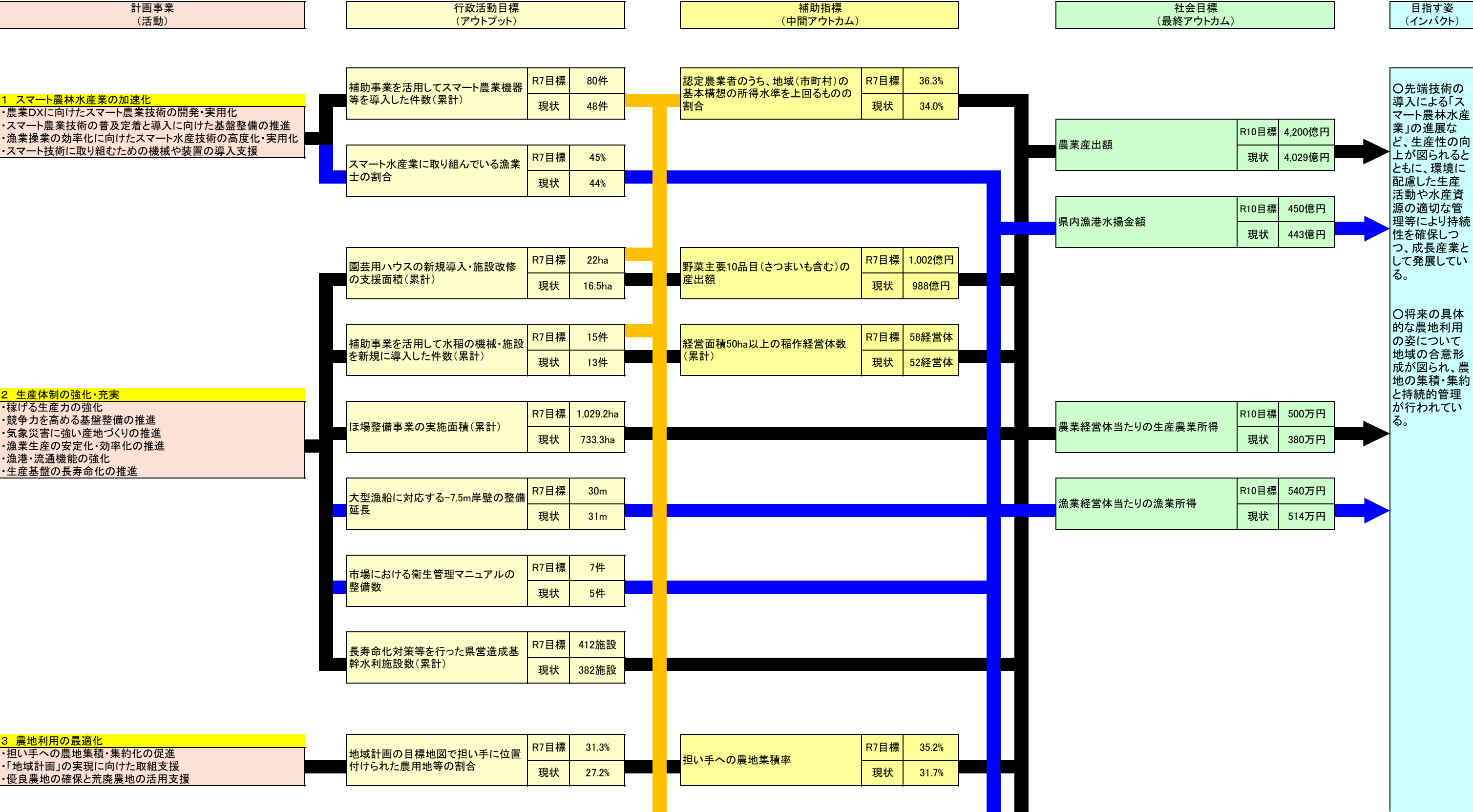
地域商業活性化コーディネーター派遣回数	R7目標	40回
	現状	52回
商店街若手リーダーの養成数(累計)	R7目標	458人
	現状	445人

【ロジックモデル】
施策項目Ⅱ－１－⑥ 産業人材の育成と就労支援





【ロジックモデル】
施策項目Ⅱ－２－② 農林水産業の成長力の強化



4 持続可能な畜産業の実現

・畜産経営の体質強化

・食肉の流通合理化に向けた食肉センターの再編整備への支援

5 水産資源の管理と維持・増大

・改正漁業法に基づく新たな資源管理の推進

・実効性のある資源管理の推進

・つくり育てる漁業の推進

6 農林水産物の安全確保と消費者の信頼確保

・農林水産業における肥料・農薬等の適正使用の推進

・食品の適正表示（再掲）

・食品等営業施設の監視指導（再掲）

・品質・衛生管理対策の推進

7 環境に配慮した農林水産業と高温対策の推進

・環境に配慮した農業や有機農業、耕畜連携の推進

・農業用廃プラスチックの適正処理の推進

・夏の高温等の気候変動に適応する農業の推進

・環境に配慮した多様な森林づくりの推進

・病虫害防除対策や林地開発の適正化による健全な森林の保全

・環境変動に適応する漁業の推進

8 農林水産業における試験研究の強化

・先端技術を活用した生産力強化と成長産業化に資する研究の推進

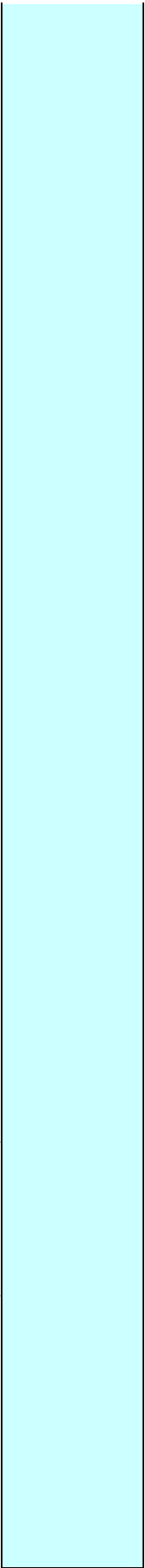
・持続可能な農林水産業の実現に向けた環境変動への適応策と緩和策に係る研究の推進

・研究体制の再構築と研究施設整備

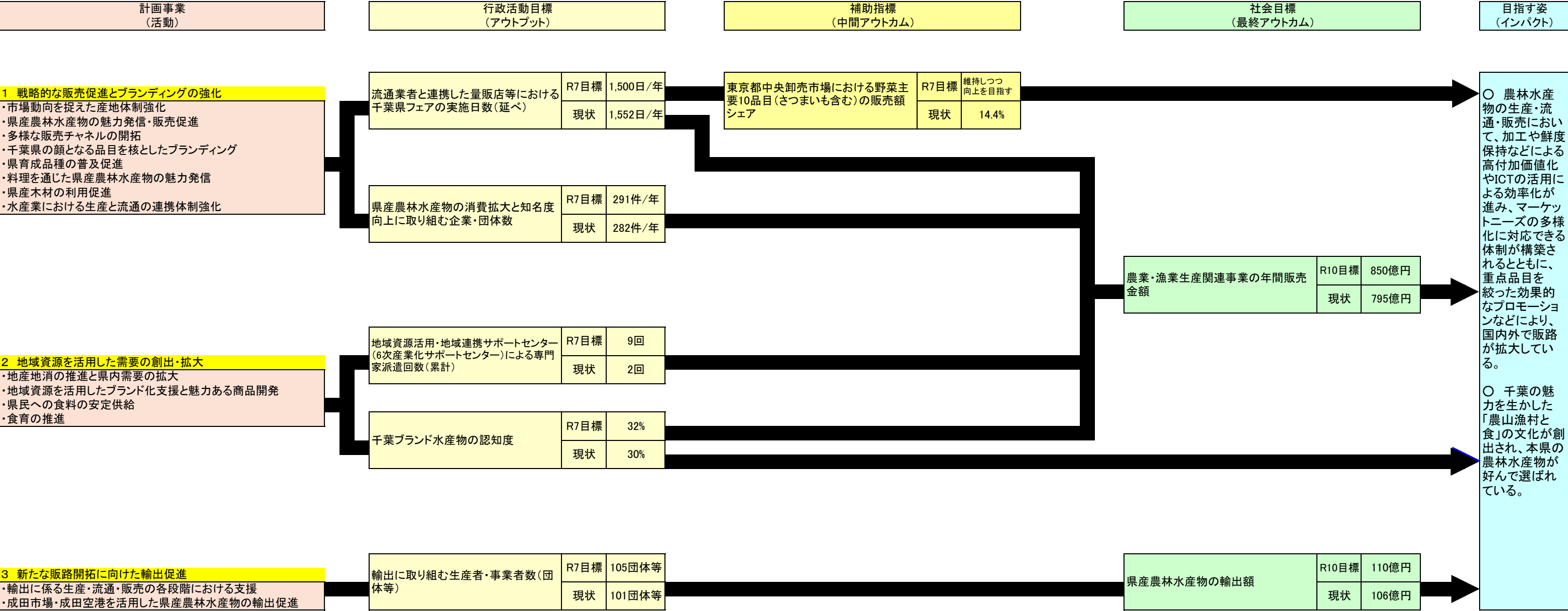
牛群改良に取り組む農家割合	R7目標	31.9%
	現状	30.7%
遺伝的能力が判明している繁殖和牛頭数の累計	R7目標	2,300頭
	現状	2,055頭
県が行う資源評価で資源水準が中位水準以上の水産資源の割合	R7目標	増加を目指す
	現状	70%
食品表示の適正化に係る巡回調査	R7目標	100件/年
	現状	100件/年
違反食品件数	R7目標	70件以下を目指す
	現状	規格基準違反1件 不適正表示53件
市場における衛生管理マニュアルの整備数	R7目標	7件
	現状	5件
高温対策に資する機械・装置等の導入支援件数	R7目標	200件
	現状	—
「環境にやさしい農業」に資する機械・施設・資材の導入を支援した件数	R7目標	10件/年
	現状	5件/年
間伐面積	R7目標	229ha/年
	現状	222ha/年
森林環境譲与税を活用した市町村による森林整備面積	R7目標	74.5ha/年
	現状	67.16ha/年
新品種・新系統育成選抜数（累計）	R7目標	73件
	現状	72件
試験研究成果普及情報数（累計）	R7目標	944件
	現状	882件

経産牛1頭当たりの乳量	R7目標	9,493kg
	現状	9,437kg
優良な繁殖和牛の割合	R7目標	26.0%
	現状	25.1%

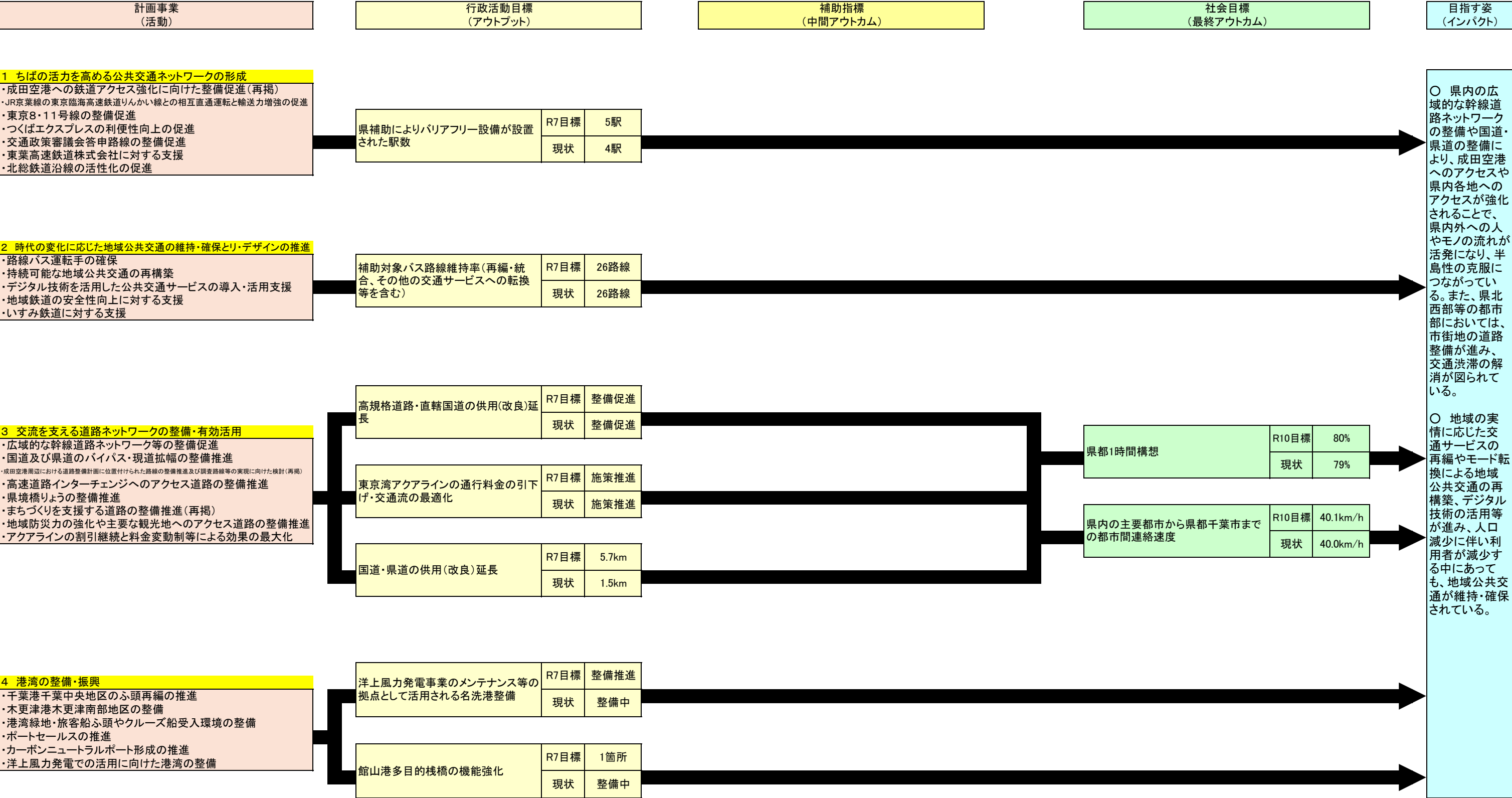
「環境にやさしい農業」の取組面積（累計）	R7目標	6,320ha
	現状	6,244ha
木材生産量	R7目標	74,600m³/年
	現状	72,800m³/年



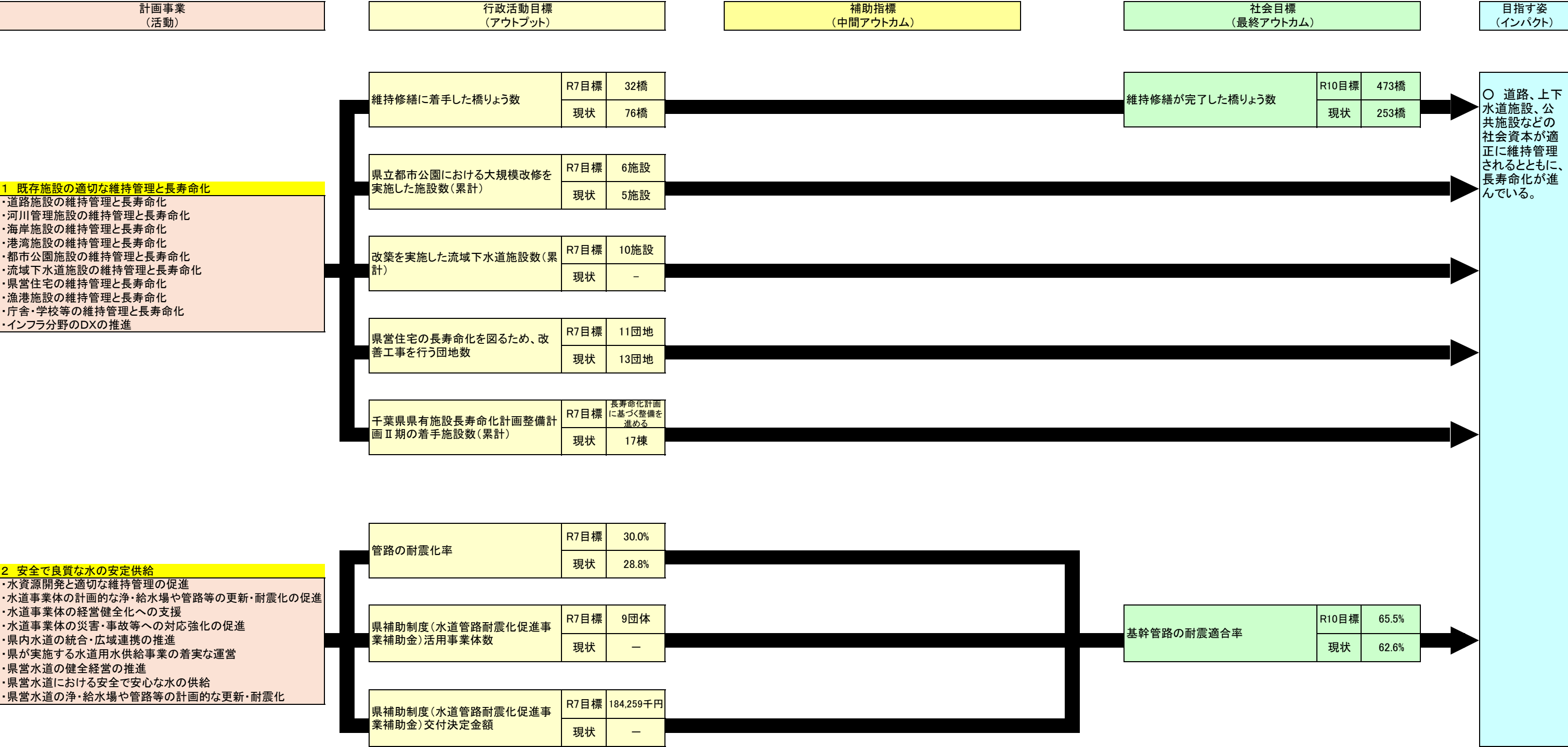
【ロジックモデル】
施策項目Ⅱ－２－③ 需要を捉えた販売力の強化と輸出促進



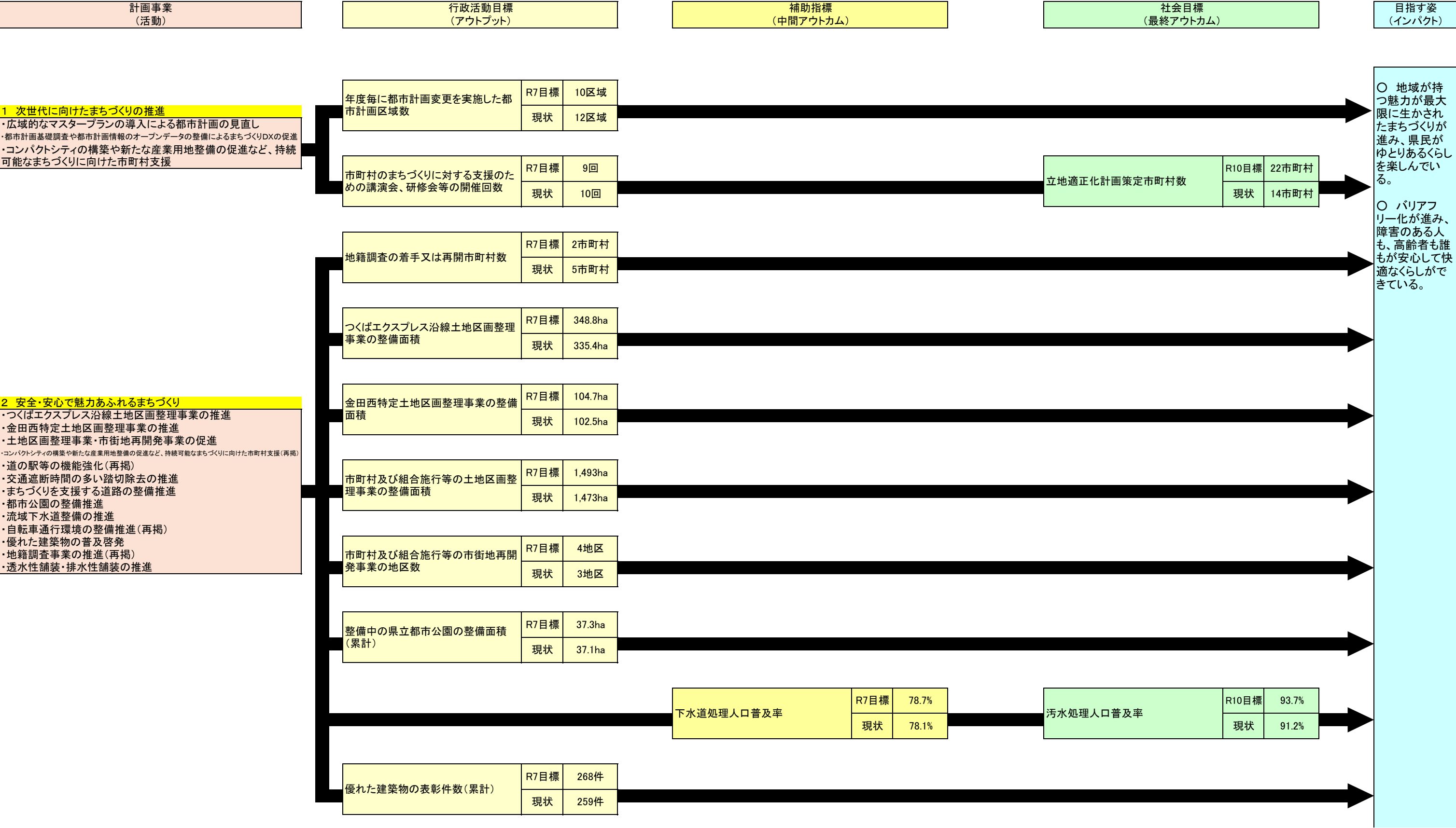
【ロジックモデル】
施策項目Ⅱ－３－① 半島性を克服する交通ネットワークの強化



【ロジックモデル】
施策項目Ⅱ－3－② 社会資本の適正な維持管理



【ロジックモデル】
施策項目Ⅱ－3－③ 快適で暮らしやすいまちづくりとスマート自治体の実現



3 バリアフリー化の推進

- ・障害者等用駐車区画利用証制度の普及・啓発
- ・公共交通におけるバリアフリー化の推進
- ・福祉タクシーの導入促進
- ・特定道路のバリアフリー化対策の推進
- ・交通安全施設のバリアフリー化の推進
- ・ちばバリアフリーマップの充実・周知
- ・公共施設におけるバリアフリー化の推進

県補助によりバリアフリー設備が設置された駅数	R7目標	5駅
	現状	4駅

4 環境・景観に配慮した整備・保全

- ・河川・海岸環境の整備・保全とにぎわいづくり
- ・周辺環境に配慮した道路の整備推進
- ・透水性舗装・排水性舗装の推進(再掲)
- ・都市における緑の保全と緑化の推進
- ・都市公園の整備推進(再掲)
- ・コンパクトシティの構築や新たな産業用地整備の促進など、持続可能なまちづくりに向けた市町村支援(再掲)
- ・屋外広告物の規制・誘導
- ・良好な景観形成に向けた啓発活動の実施及び市町村支援
- ・グリーンインフラの整備推進(再掲)

透水性舗装の整備延長(累計)	R7目標	235.5km
	現状	234.5km

都市計画区域内人口一人当たりの都市公園面積	R7目標	増加を目指す
	現状	7.22㎡/人

景観計画策定市町村数	R7目標	増加を目指す
	現状	22市町村

空家等対策推進事業により支援した市町村数の合計	R7目標	23市町村
	現状	17市町村

空家等対策計画を策定した市町村数	R7目標	増加を目指す
	現状	43市町村

居住支援に関する講習会、研修会等の開催回数	R7目標	4回
	現状	4回

5 豊かな住生活の実現

- ・住情報の提供
- ・良質な住宅の供給促進
- ・高齢者等の住宅確保要配慮者に対する適切な住宅の確保
- ・既存住宅の流通・活用の促進
- ・空き家の適切な維持管理・流通・活用の促進
- ・県営住宅の建設・管理
- ・マンション管理の支援

リフォーム講習会及び相談会の開催回数	R7目標	5回
	現状	5回

マンション管理基礎講座の開催回数	R7目標	3回
	現状	4回

県営住宅の長寿命化を図るため、改善工事を行う団地数	R7目標	11団地
	現状	13団地

6 スマート自治体の実現

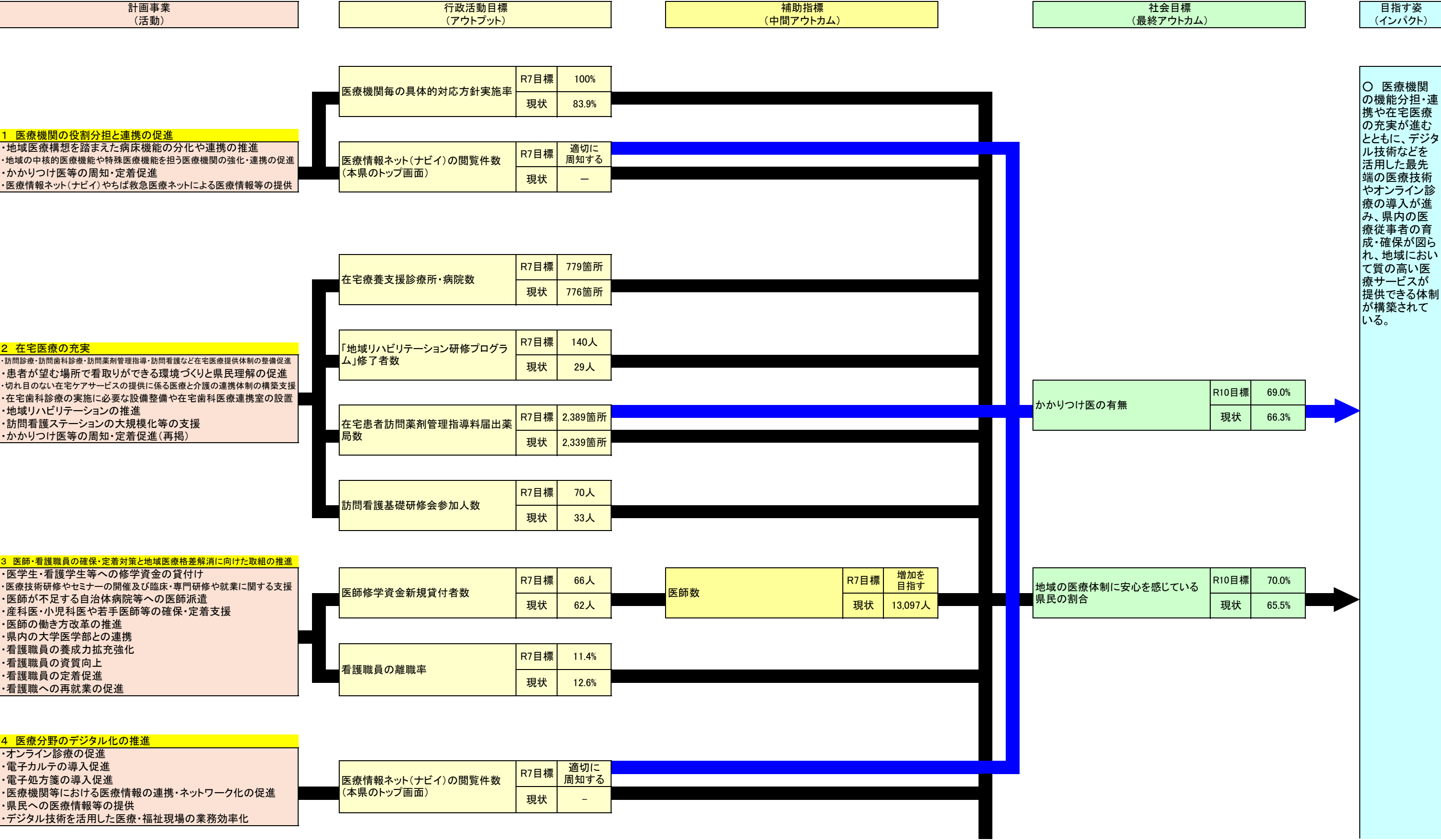
- ・行政手続オンライン化・キャッシュレス決済の推進
- ・生成AIやチャットボット等のデジタルツール等の効果的な活用
- ・オープンデータの整備や活用機運の醸成等の推進
- ・行政内部におけるデータ活用の推進
- ・外部専門人材の活用による市町村DXの促進
- ・市町村との連携によるシステムの共同調達・共同利用

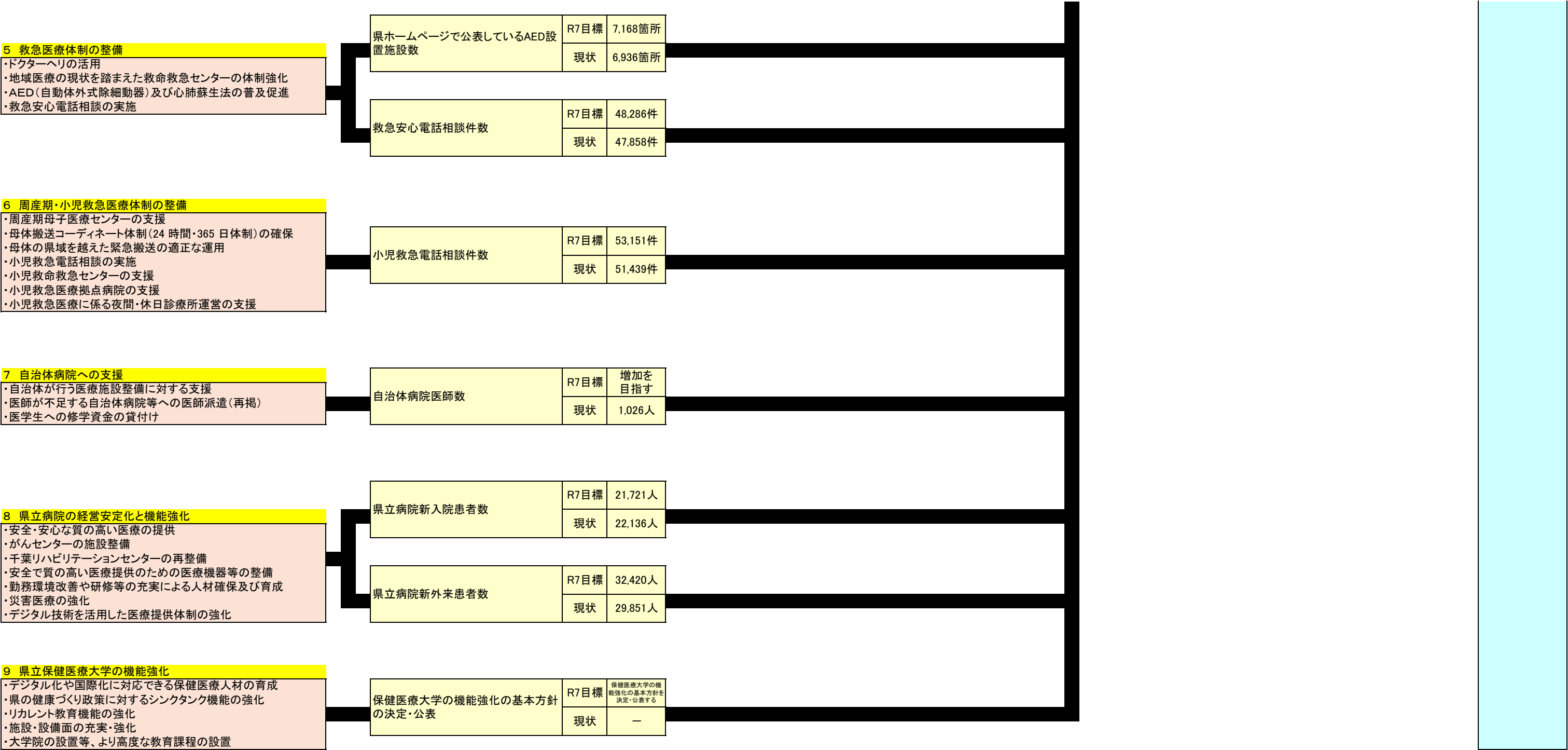
業務改善取組件数	R7目標	176件
	現状	166件

オンライン化した行政手続の件数	R7目標	343件
	現状	199件

行政手続のオンライン化率	R10目標	98.0%
	現状	63.0%

【ロジックモデル】
施策項目Ⅲ－１－① 増大する医療需要への対応





7 自治体病院への支援

・自治体が行う医療施設整備に対する支援

・医師が不足する自治体病院等への医師派遣（再掲）

・医学生への修学資金の貸付け

自治体病院医師数

R7目標

現状

増加を目指す

1,026人

8 県立病院の経営安定化と機能強化

・安全・安心な質の高い医療の提供

・がんセンターの施設整備

・千葉リハビリテーションセンターの再整備

・安全で質の高い医療提供のための医療機器等の整備

・勤務環境改善や研修等の充実による人材確保及び育成

・災害医療の強化

・デジタル技術を活用した医療提供体制の強化

県立病院新入院患者数

R7目標

現状

21,721人

22,136人

県立病院新外来患者数

R7目標

現状

32,420人

29,851人

9 県立保健医療大学の機能強化

・デジタル化や国際化に対応できる保健医療人材の育成

・県の健康づくり政策に対するシンクタンク機能の強化

・リカレント教育機能の強化

・施設・設備面の充実・強化

・大学院の設置等、より高度な教育課程の設置

保健医療大学の機能強化の基本方針の決定・公表

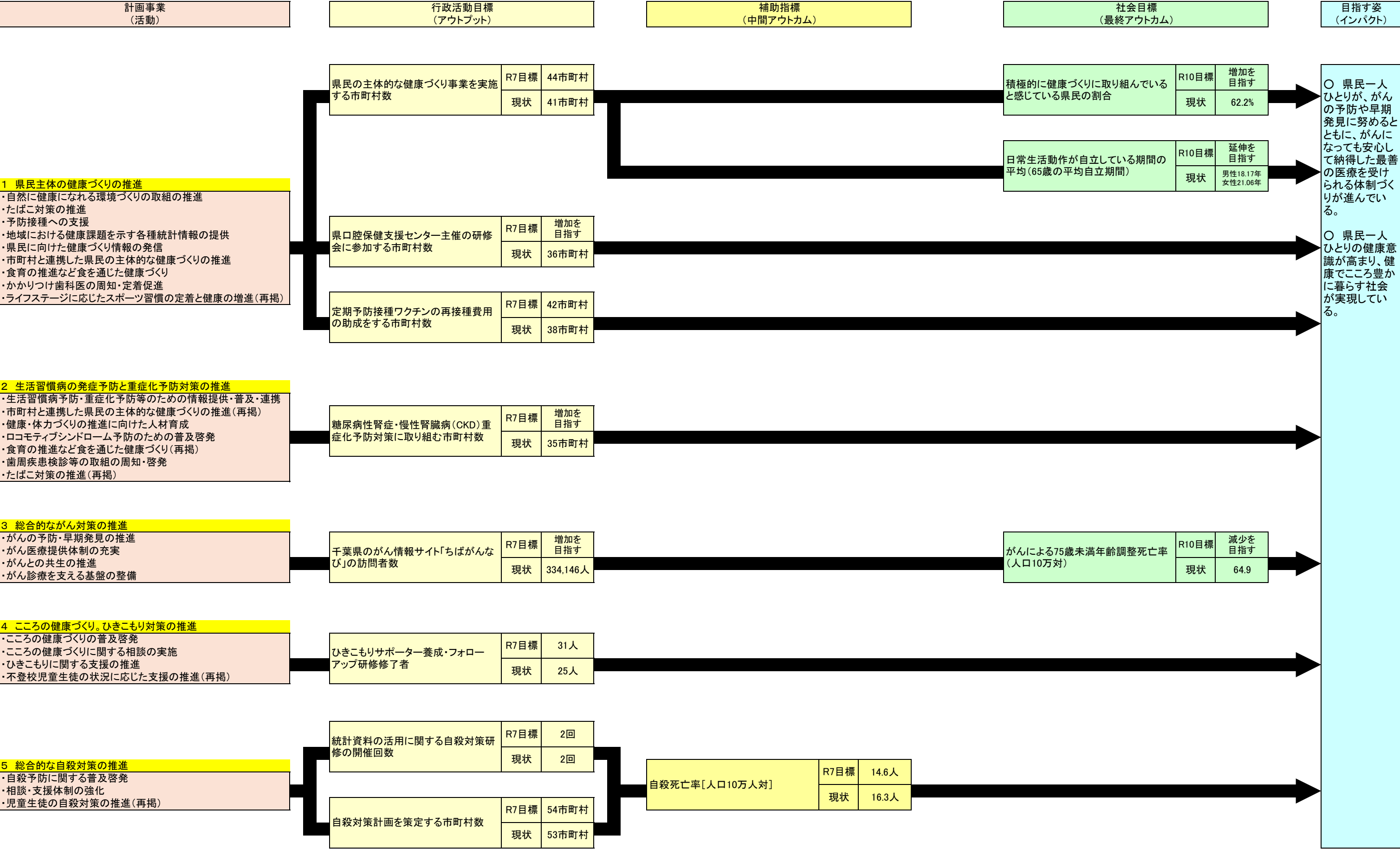
R7目標

現状

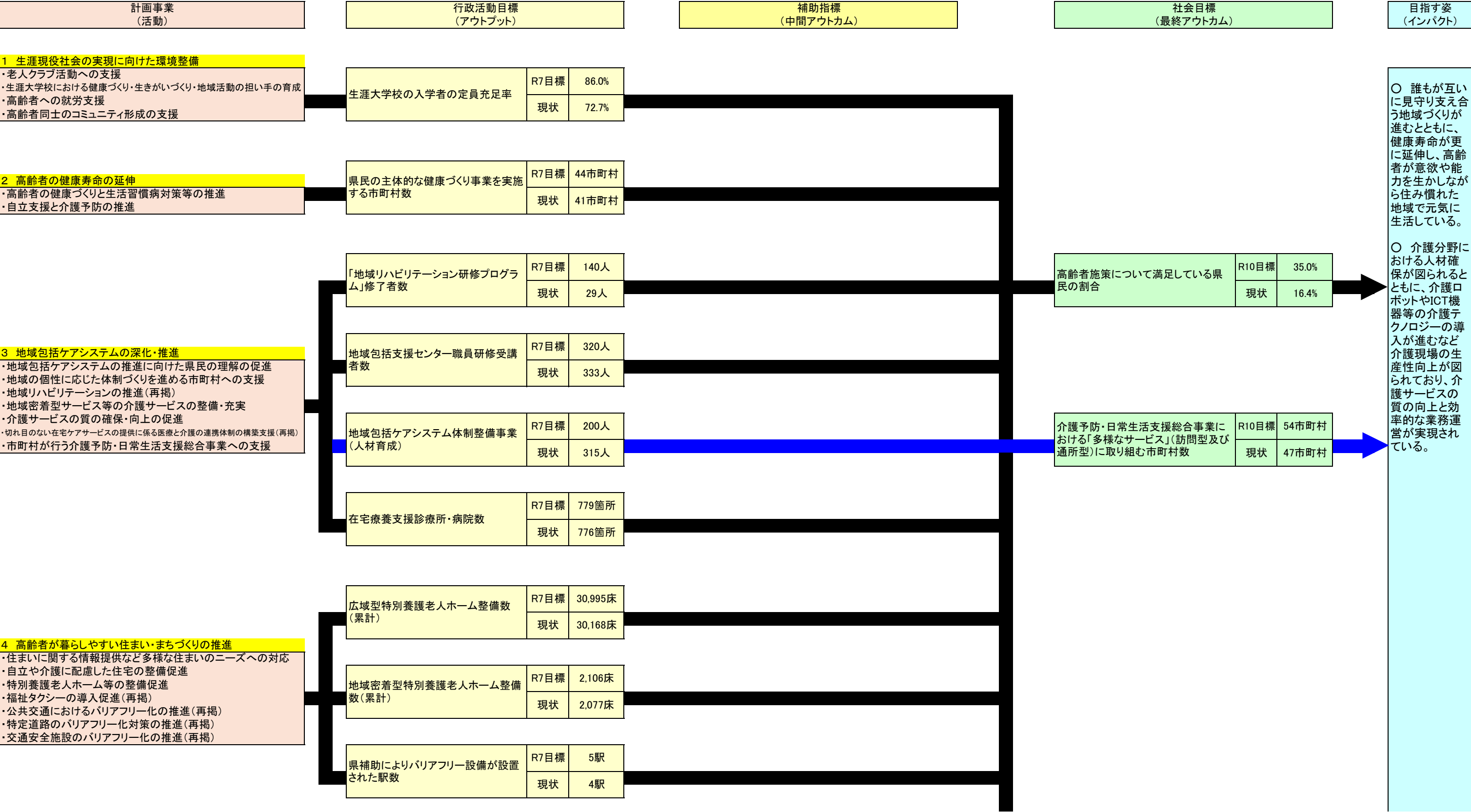
保健医療大学の機能強化の基本方針を決定・公表する

—

【ロジックモデル】
施策項目Ⅲ－１－② 生涯を通じた健康づくりと予防医療の推進



【ロジックモデル】
施策項目Ⅲ－２－① 高齢者福祉の充実



5 福祉・介護人材確保・定着対策の推進

- ・福祉・介護の仕事の魅力発信
- ・福祉・介護分野における人材の就業促進とマッチング支援
- ・潜在有資格者等の就労支援
- ・ケアマネジャーの研修受講料の助成
- ・キャリアアップのための研修の促進
- ・福祉人材センターの運営
- ・外国人介護人材の就業促進

介護の未来案内人事業による訪問授業、ワークショップ等の実施回数	R7目標	21回
	現状	19回

介護支援専門員研修受講料補助の助成対象となっている研修の受講者数	R7目標	1,673人
	現状	1,673人

有効な介護支援専門員証を有する介護支援専門員の人数	R7目標	11,782人
	現状	10,964人

キャリアアップ研修受講者数	R7目標	3,000人
	現状	2,699人

外国人介護人材支援センターでの制度説明会・研修の受講者数	R7目標	200人
	現状	186人

6 介護現場の生産性向上の推進や経営の協働化・大規模化

- ・介護テクノロジーの導入支援
- ・介護業務効率アップセンターの運営など介護事業所における業務改善の取組への支援

県補助により介護テクノロジーが導入された事業所数	R7目標	540事業所
	現状	524事業所

介護業務効率アップセンター事業における研修参加事業所数	R7目標	100事業所
	現状	63事業所

「ちばSSKプロジェクト」協定締結企業数（累計）	R7目標	13社
	現状	13社

7 高齢者の尊厳を守りながら地域で支え合う仕組みづくりの推進

- ・「ちばSSK(しない・させない・孤立化！)プロジェクト」の推進
- ・市町村が行う介護予防・日常生活支援総合事業への支援（再掲）
- ・生涯大学校における健康づくり・生きがいづくり・地域活動の担い手の育成（再掲）
- ・高齢者虐待防止対策の一層の推進
- ・成年後見制度の周知及び地域における体制づくりの促進

生涯大学校の入学者の定員充足率	R7目標	86.0%
	現状	72.7%

高齢者の虐待防止対策研修受講者数	R7目標	850人
	現状	1,026人

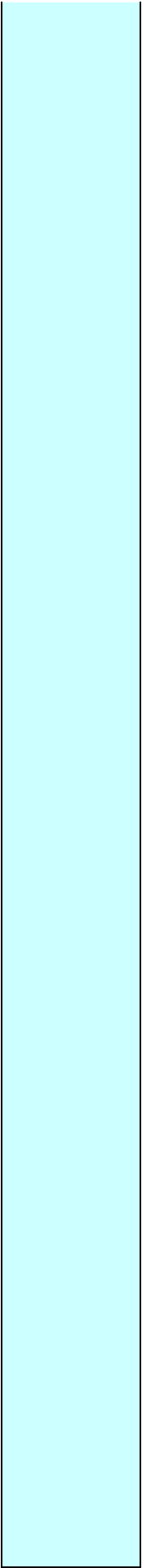
高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修受講者	R7目標	660人
	現状	479人

8 認知症の人や家族などに対する総合的な支援の推進

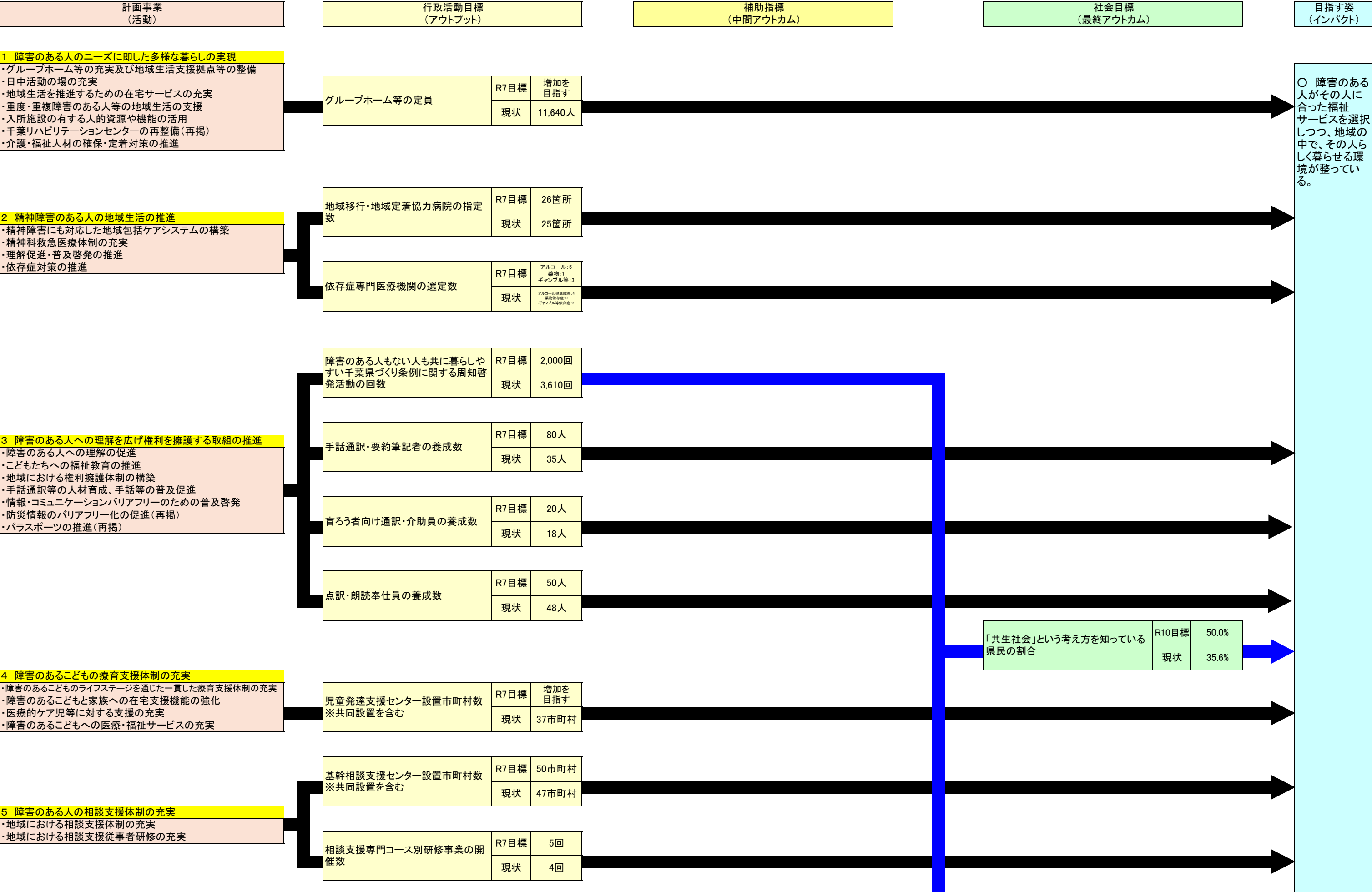
- ・認知症に対する正しい理解の普及・啓発と認知症バリアフリーの推進
- ・認知症予防の推進
- ・早期診断と適切な医療・介護連携体制の整備及び多職種協働の推進
- ・認知症支援に携わる人材の養成
- ・本人やその家族への支援と本人発信支援
- ・若年性認知症施策の推進

認知症サポート医の養成人数（累計）	R7目標	690人
	現状	674人

認知症サポーター数（累計）	R7目標	713,000人
	現状	688,961人



【ロジックモデル】
施策項目Ⅲ－２－② 障害者福祉の充実



6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実

・就労支援・定着支援の体制強化

・障害者就業・生活支援センターの運営強化

・障害のある人を雇用する企業等への支援

・支援機関や関係機関のネットワークの構築及び情報共有化

・福祉施設等で生産活動・福祉的就労を行う障害のある人の工賃（賃金）向上への取組の推進

・障害のある人の自らの価値観に基づいた働き方の選択を尊重した支援

福祉施設利用者の一般就労への移行実績	R7目標	1,506人
	現状	1,677人
障害者雇用率達成企業の割合	R7目標	増加を目指す
	現状	47.3%

7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実

・地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進

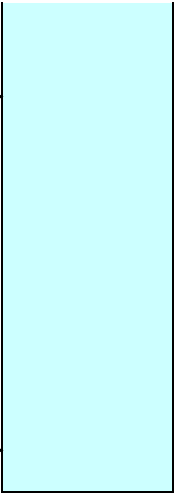
・通所サービスだけでは支援が困難な障害に対する支援の推進

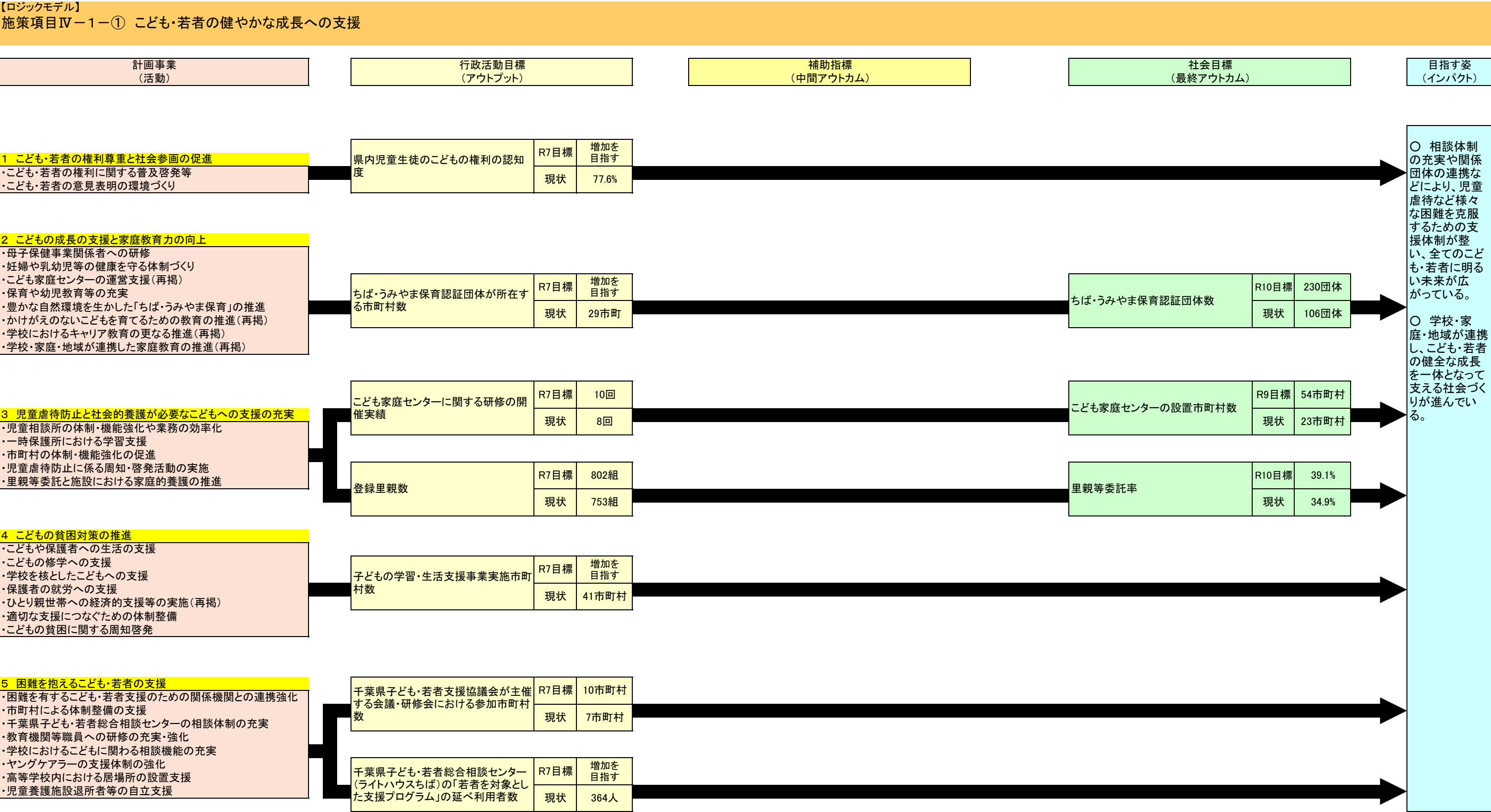
・重度・重複障害のある人の負担軽減の推進

・ひきこもりに関する支援の推進（再掲）

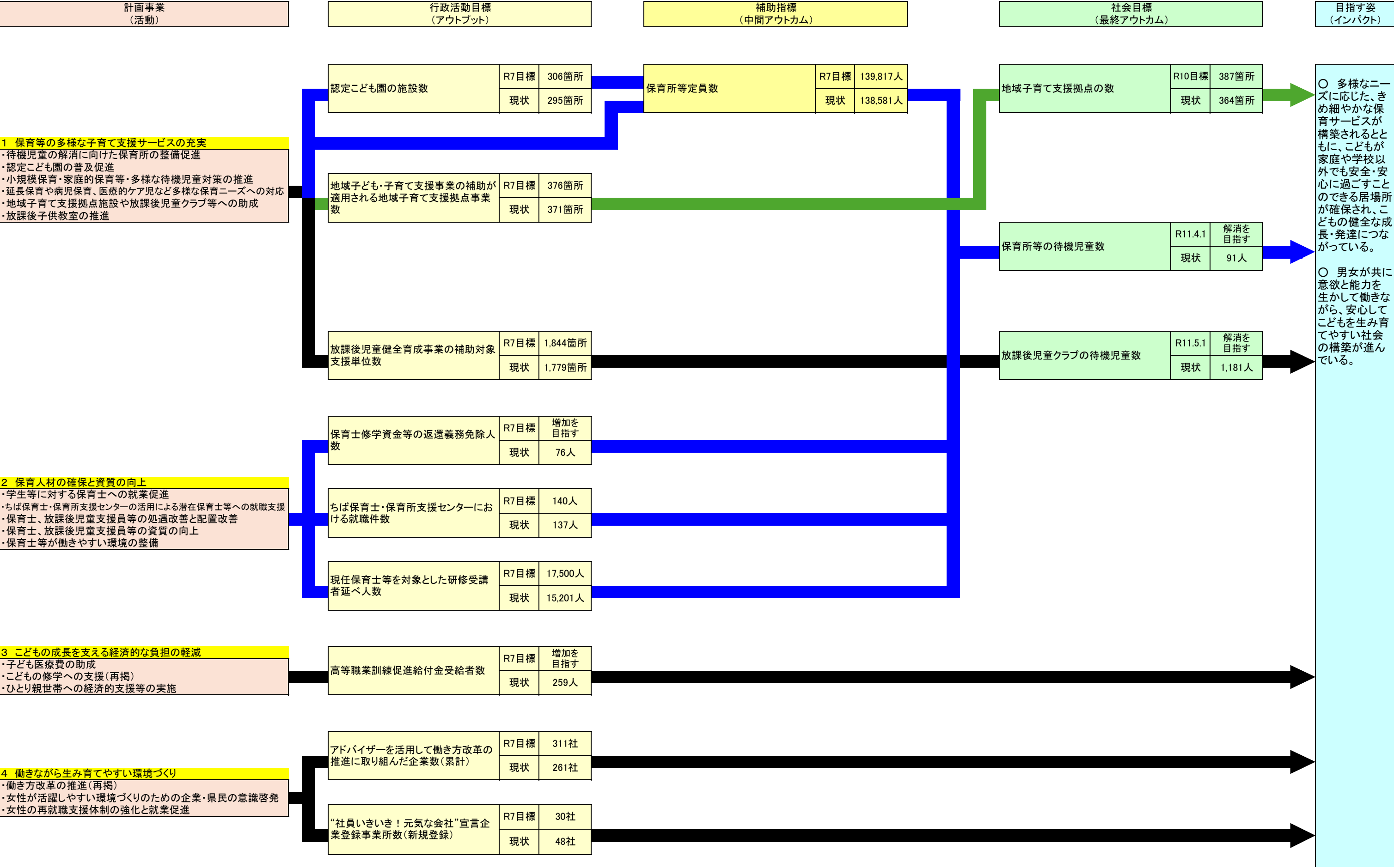
相談支援アドバイザー派遣件数	R7目標	15件
	現状	13件

地域生活支援拠点等が整備されている市町村数	R10目標	54市町村
	現状	38市町村





【ロジックモデル】
施策項目Ⅳ－１－② 安心して子育てできる環境づくり

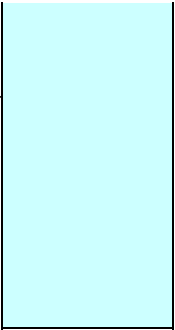


5 男女が協力して子育てできる環境づくり
・企業等との連携などによる男女共同参画の意識の普及・啓発(再掲) ・仕事と家庭の両立支援に取り組む企業等の表彰(再掲) ・働き方改革の推進(再掲)

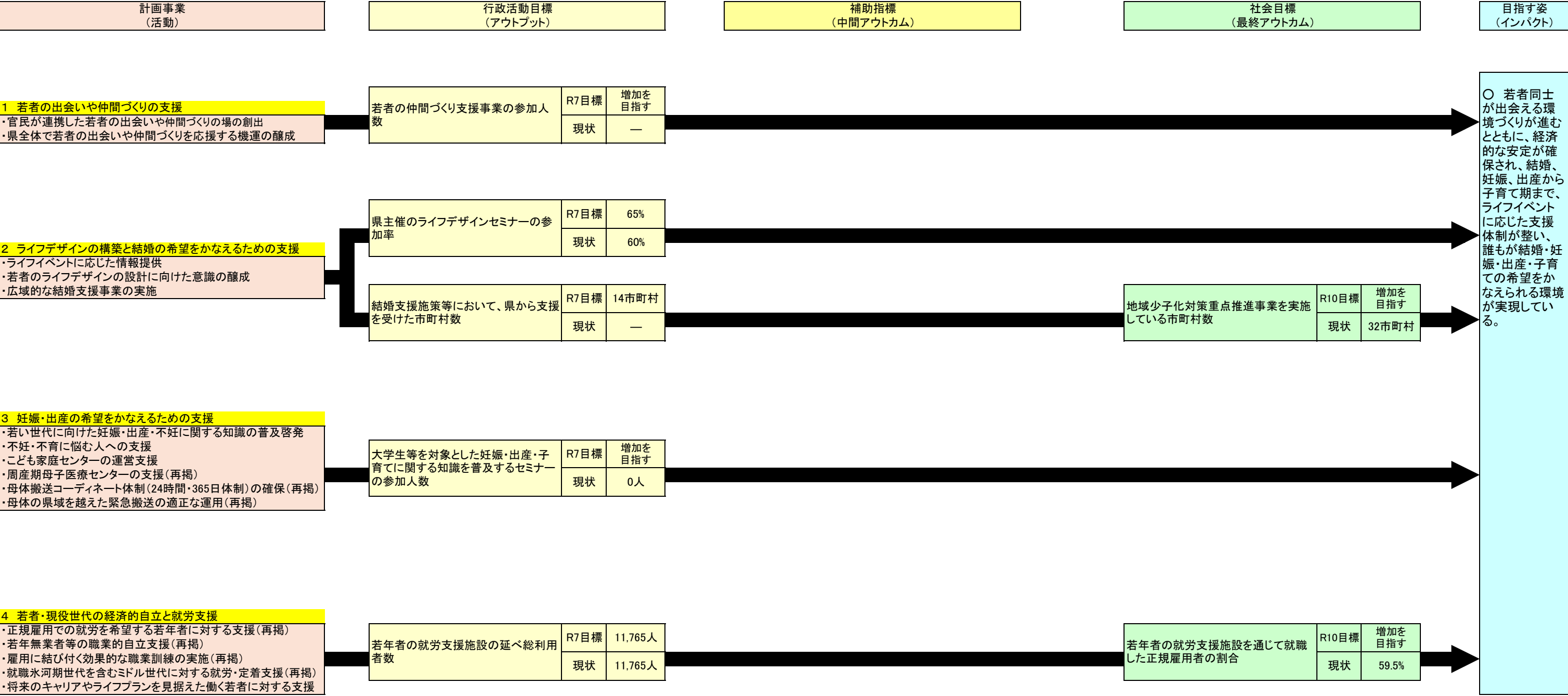
男女共同参画・多様性社会推進事業 所表彰件数	R7目標	6件
	現状	5件

6 企業参画による子育て支援
・企業参画型子育て支援事業(子育て応援！チーパス事業や「チーバくん」を活用した子育て応援事業)の推進 ・協賛店拡大のための取組の実施

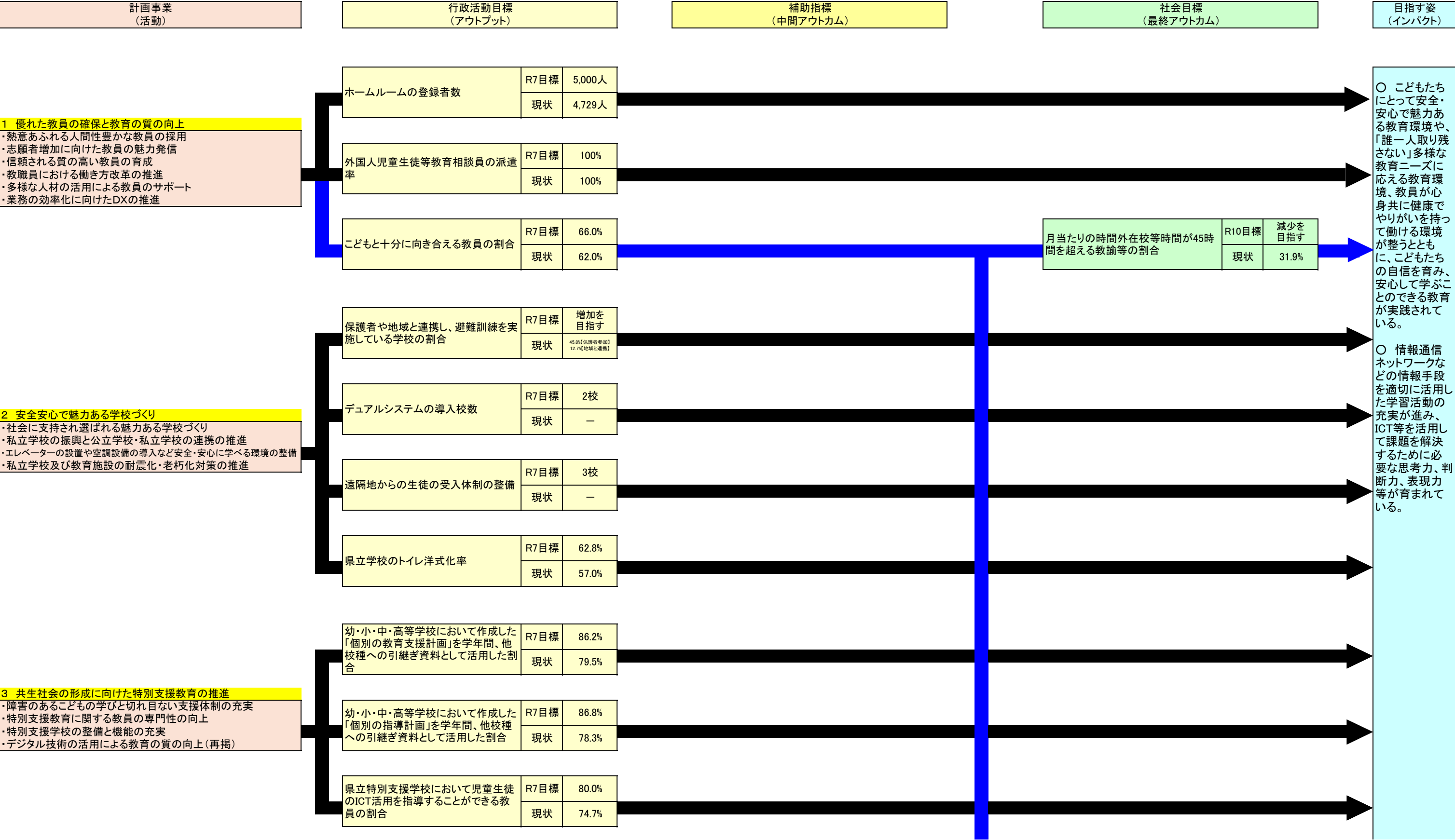
「子育て応援！チーパス事業」協賛店 舗数	R7目標	増加を 目指す
	現状	8,145店



【ロジックモデル】
施策項目Ⅳ－１－③ 若者の仲間づくりの促進やライフイベントに応じた支援



【ロジックモデル】
施策項目Ⅳ－２－① こどもたちの自信を育む教育の土台づくり



4 多様なニーズに対応した教育の推進

・不登校児童生徒の状況に応じた支援の推進

・安心して学べる環境を実現するいじめ対策の推進

・学び直しなどの再チャレンジの機会の充実

・経済的・家庭的理由など様々な困難への支援

・外国人児童生徒等の受入体制の整備

・相互の多様性を認め合う学校風土の醸成

5 教育DXの推進

・デジタル技術の活用による教育の質の向上

・デジタル人材の育成

・教員のデジタル技術活用による指導力向上

・業務改善DXアドバイザーの活用

・業務の効率化に向けたDXの推進(再掲)

千葉県奨学資金貸付人数	R7目標	適切に実施する
	現状	740人

スクールカウンセラー年間配置時間総数	R7目標	増加を目指す
	現状	158,509時間

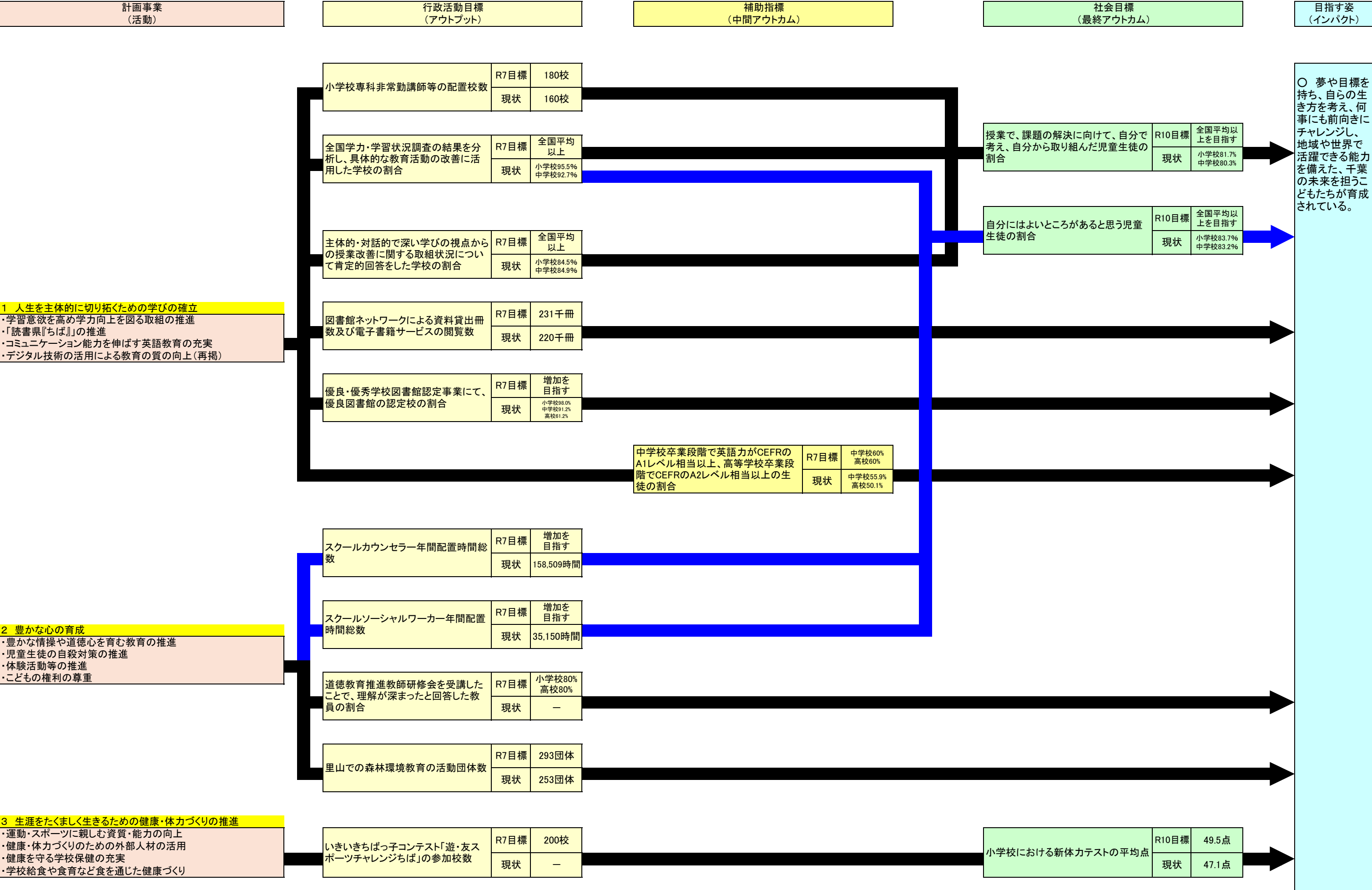
スクールソーシャルワーカー年間配置時間総数	R7目標	増加を目指す
	現状	35,150時間

児童生徒の欠席等に係る家庭からの連絡を、電話ではなくWEBで受け付けている学校の割合	R7目標	70.0%
	現状	66.0%

児童生徒のICT活用を指導する能力	R7目標	85.0%
	現状	79.6%

いじめ認知件数に対する解消率	R10目標	増加を目指す
	現状	78.9%

【ロジックモデル】
施策項目Ⅳ－２－② 未来を切り拓く「人」の育成



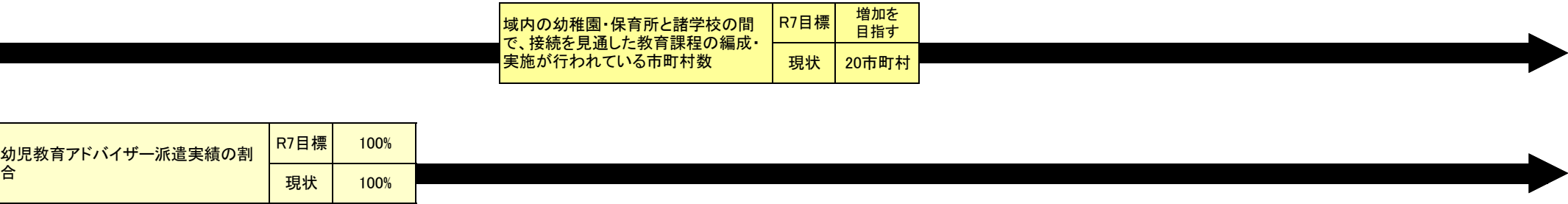
4 人格形成の基礎を培う幼児教育の充実

・教職員や保育士の専門性の向上をはじめとした幼児教育・保育の質の向上

・豊かな自然環境を生かした「ちば・うみやま保育」の推進（再掲）

・幼児教育と小学校教育の接続の円滑化

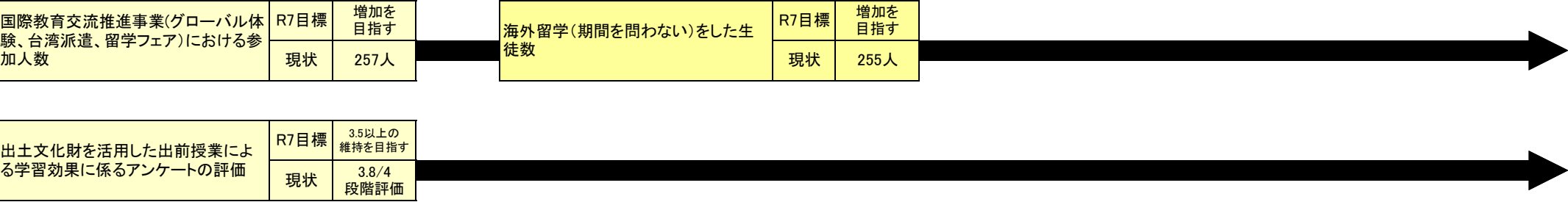
・保育士等の資質の向上



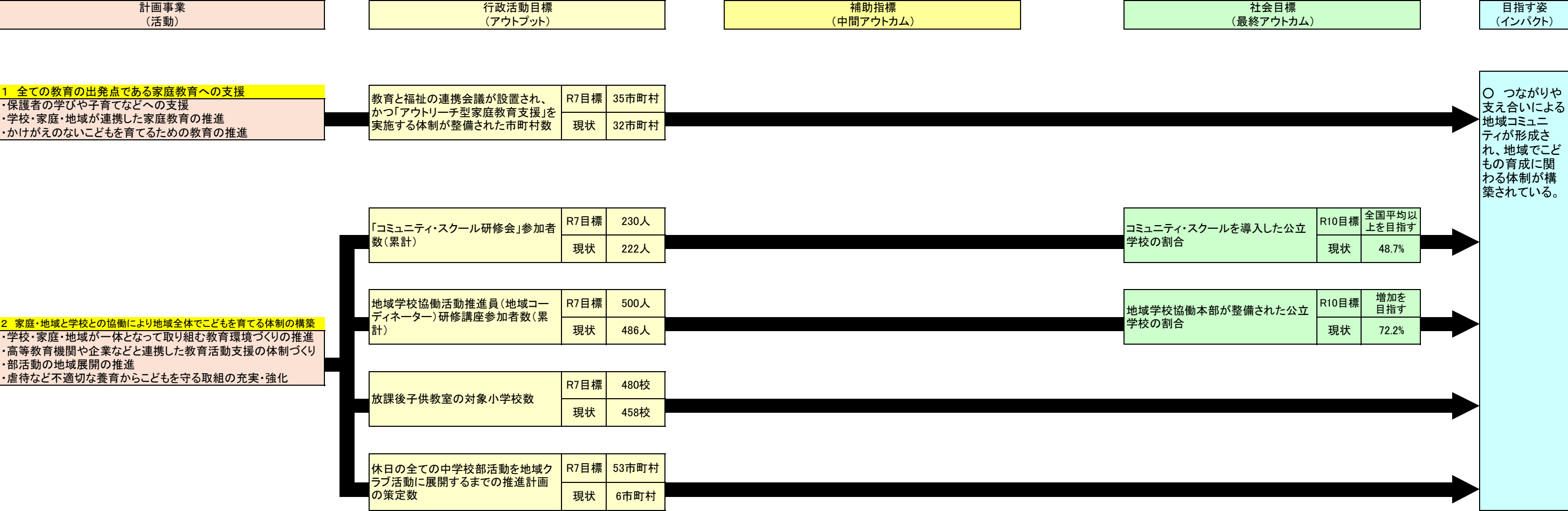
5 郷土と国を愛する心と、グローバル化への対応能力の育成

・郷土と国の歴史や伝統文化等について学ぶ教育の推進

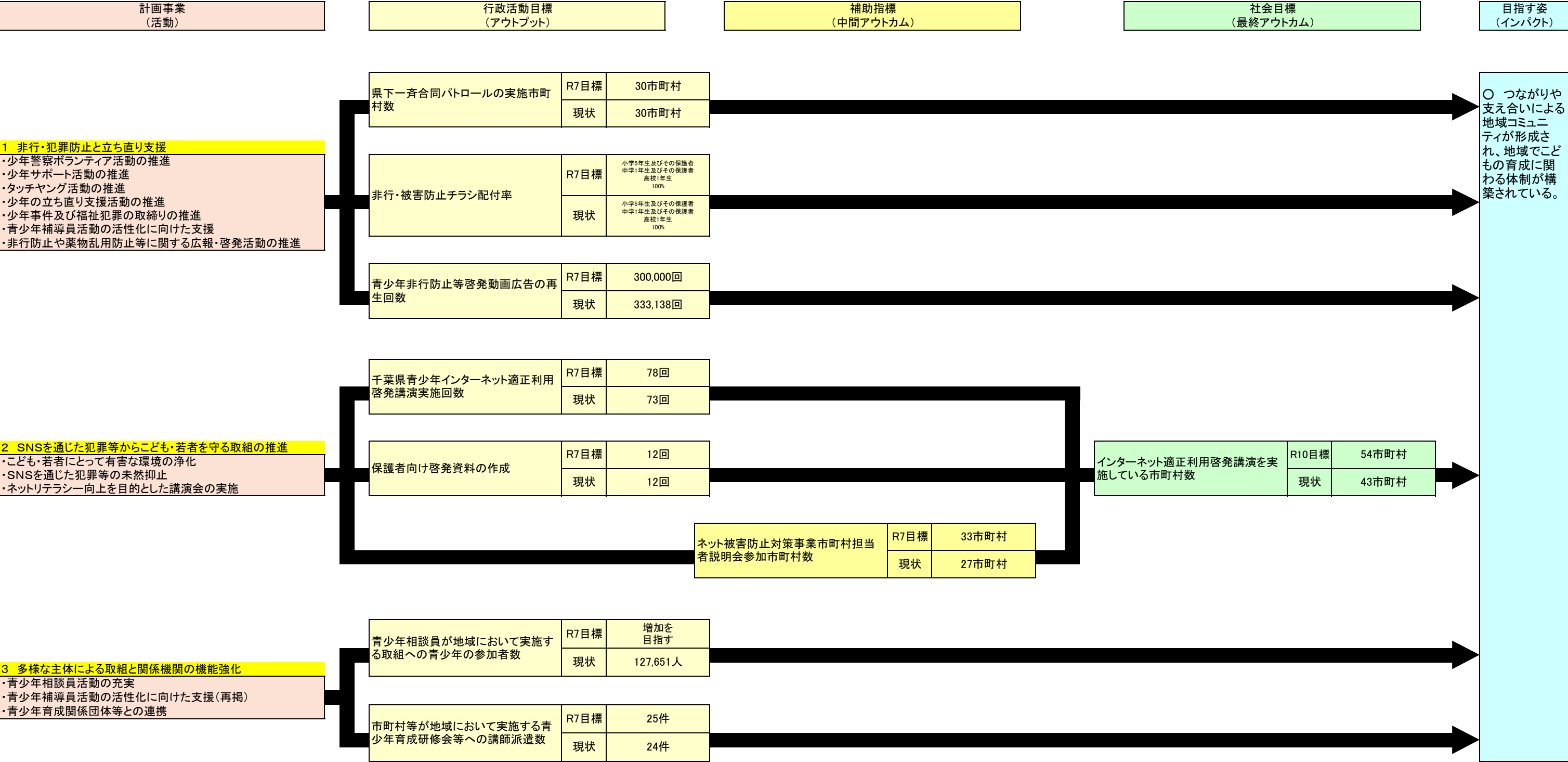
・多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成



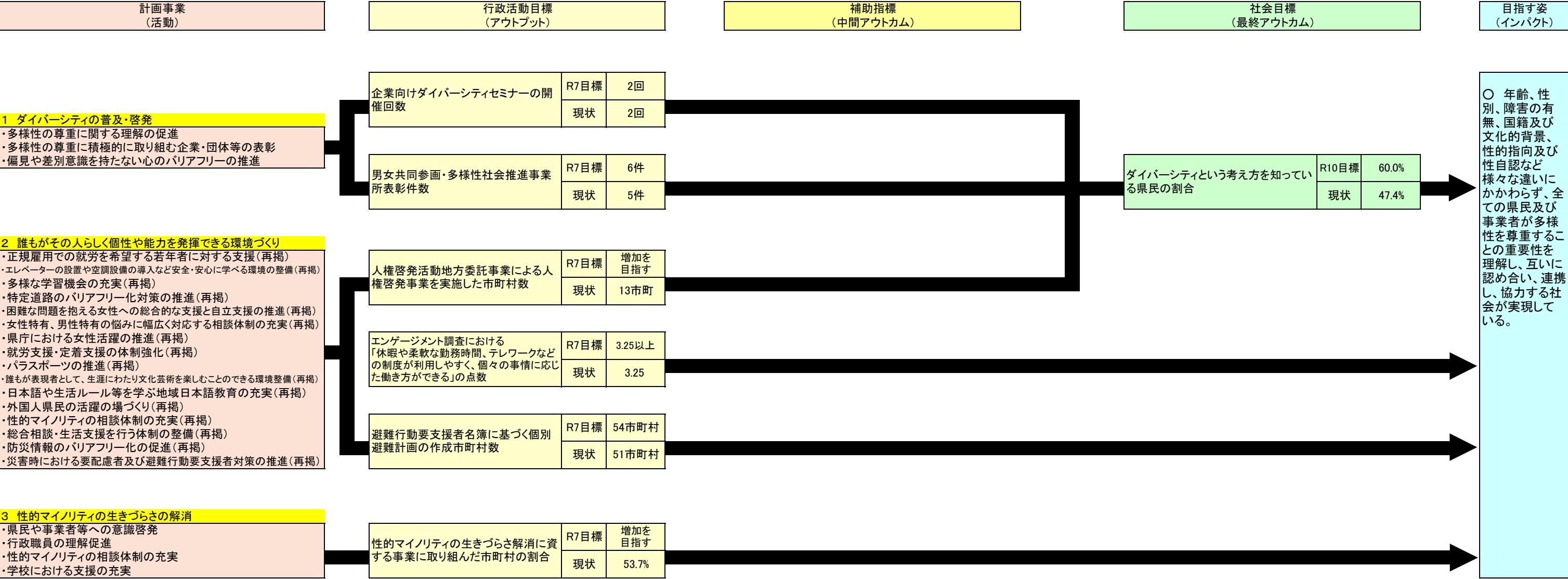
【ロジックモデル】
施策項目Ⅳ－２－③ 地域全体でこどもを育てる体制づくり



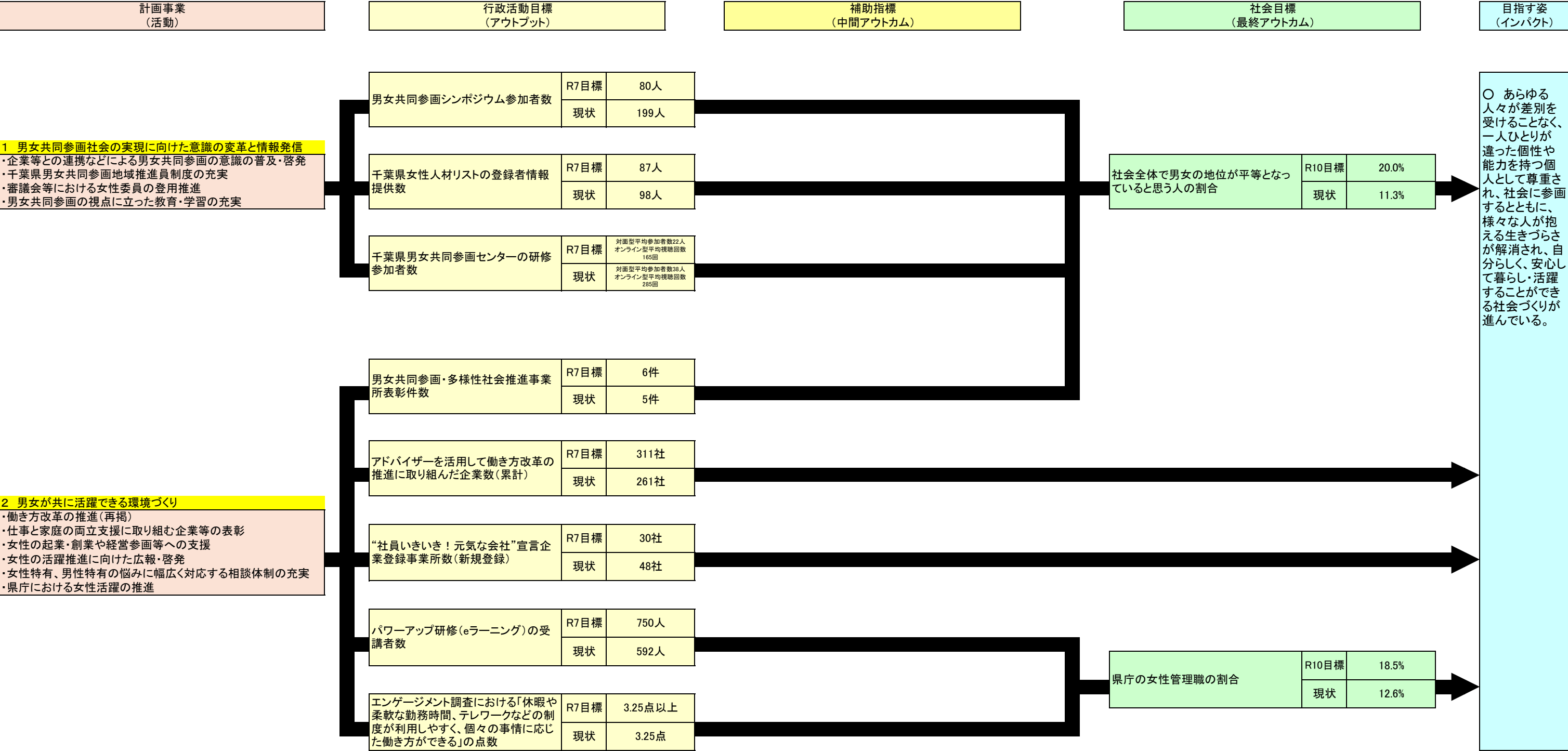
【ロジックモデル】
施策項目Ⅳ－２－④ 青少年の健全育成



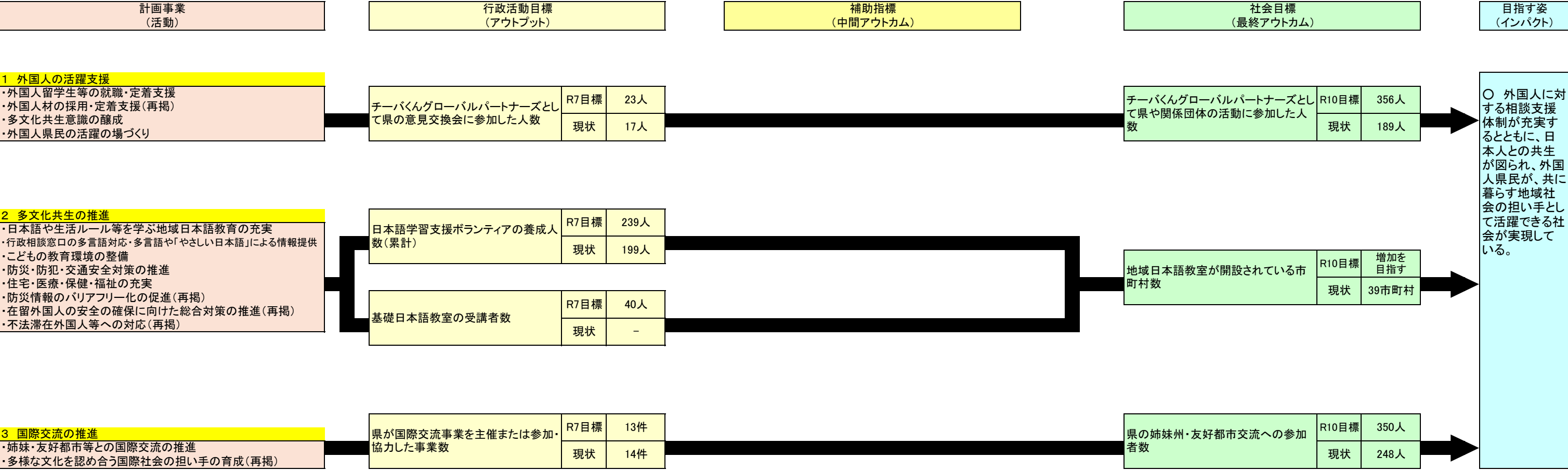
【ロジックモデル】
施策項目 V－1－① 誰もが力を発揮できる社会の実現



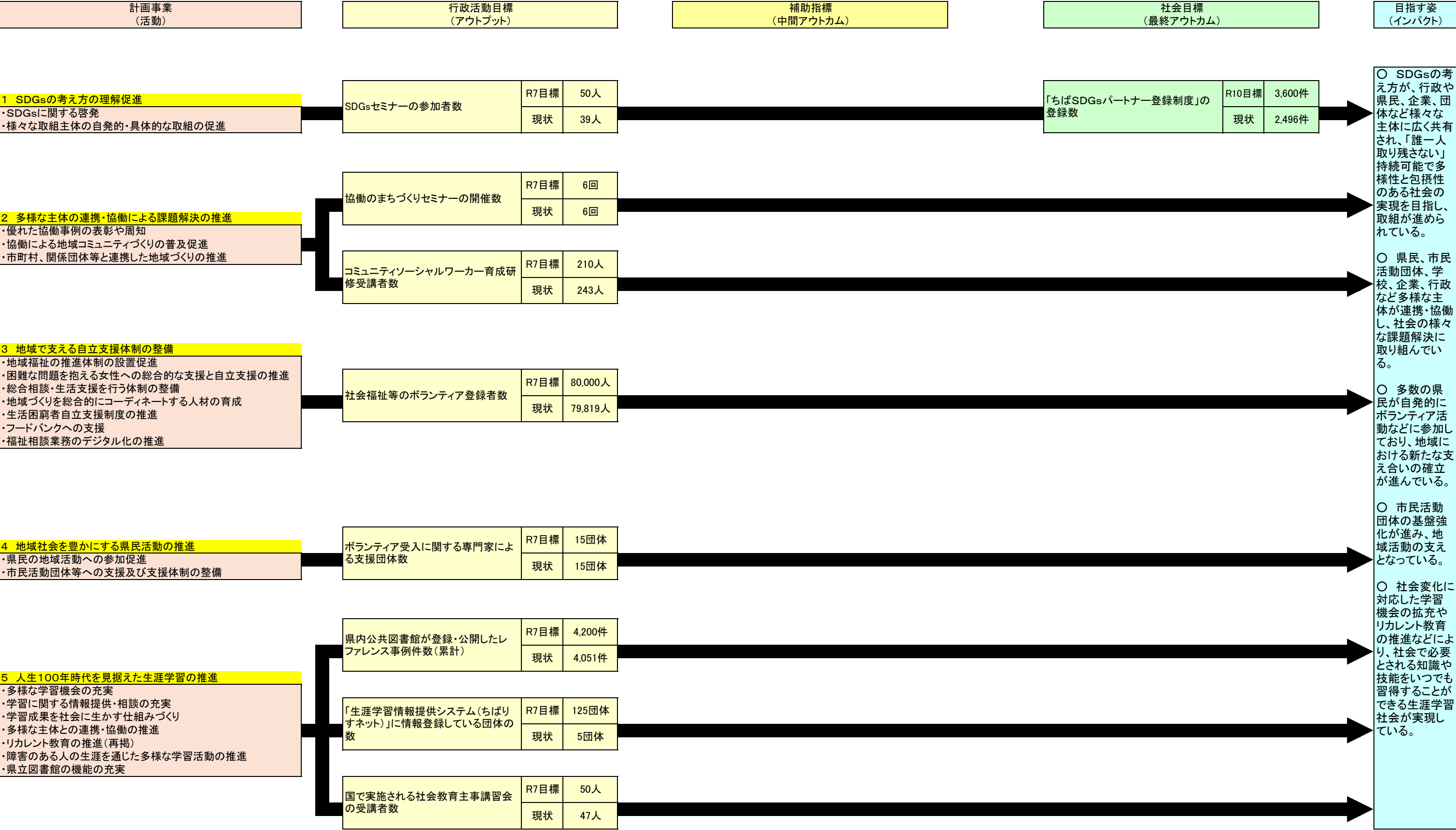
【ロジックモデル】
施策項目Ⅴ－１－② 男女共同参画の推進



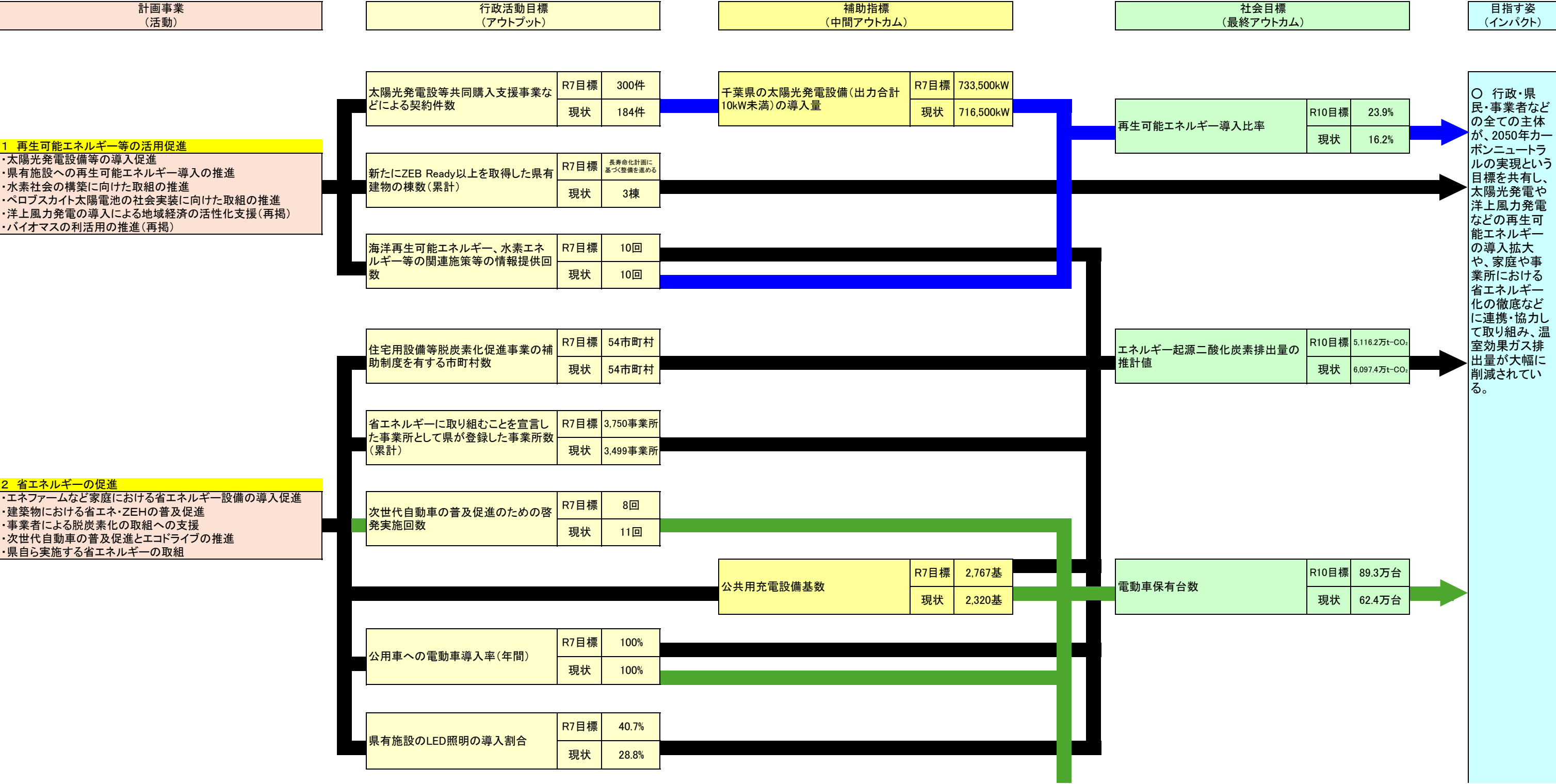
【ロジックモデル】
施策項目 V－1－③ 外国人の活躍・共生と国際交流の推進



【ロジックモデル】
施策項目 V－2－① 多様な主体の連携・協働による社会づくり



【ロジックモデル】
施策項目VI－１－① 地球温暖化対策の推進



3 温暖化対策に資する地域環境の整備・改善

・グリーンインフラの整備推進

・海の吸収源対策の実施

・広域的な幹線道路ネットワーク等の整備促進(再掲)

・国道及び県道のバイパス・現道拡幅の整備推進(再掲)

・まちづくりを支援する道路の整備推進(再掲)

・自転車通行環境の整備推進(再掲)

・道路施設の維持管理と長寿命化(再掲)

・上下水道・工業用水道施設における温室効果ガス削減の取組推進

・企業間連携によるカーボンニュートラルコンビナートの推進(再掲)

・カーボンニュートラルポート形成の推進(再掲)

・森林の保全と整備の推進

・都市における緑の保全と緑化の推進(再掲)

・信号機の集中制御・系統化等による交通流の円滑化等

間伐面積	R7目標	229ha/年
	現状	222ha/年
流域下水道施設の屋外照明をLED化した数(累計)	R7目標	505灯
	現状	468灯
都市計画区域内人口一人当たりの都市公園面積	R7目標	増加を目指す
	現状	7.22㎡/人

森林整備面積	R10目標	904ha
	現状	854ha

4 脱炭素型ライフスタイルへの転換

・県民や事業者等への再生可能エネルギーや省エネルギーに関する普及啓発の実施

・地球温暖化対策に関する学習の推進

・次世代自動車の普及促進とエコドライブの推進(再掲)

・テレワークやワーケーション等の多様な働き方の推進(再掲)

次世代自動車の普及促進のための啓発実施回数	R7目標	8回
	現状	11回

公共用充電設備基数	R7目標	2,767基
	現状	2,320基

5 気候変動の影響に対する適応の推進

・千葉県気候変動適応センターによる気候変動影響及び適応に関する情報の収集・提供等

・河川・海岸整備の推進

・流域治水の推進(再掲)

・防災教育の推進(再掲)

・植物防疫対策の推進(再掲)

・夏の高温等の気候変動に適応する農業の推進(再掲)

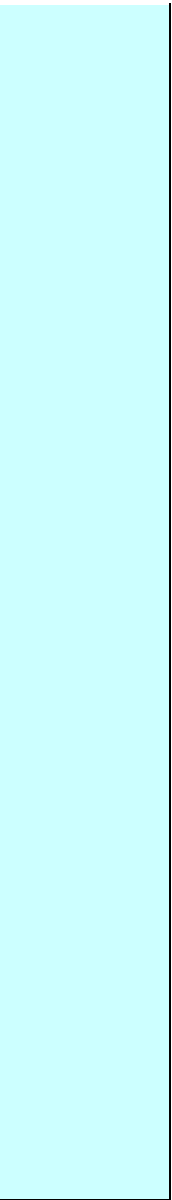
・環境変動に適応する漁業の推進(再掲)

・都市における緑の保全と緑化の推進(再掲)

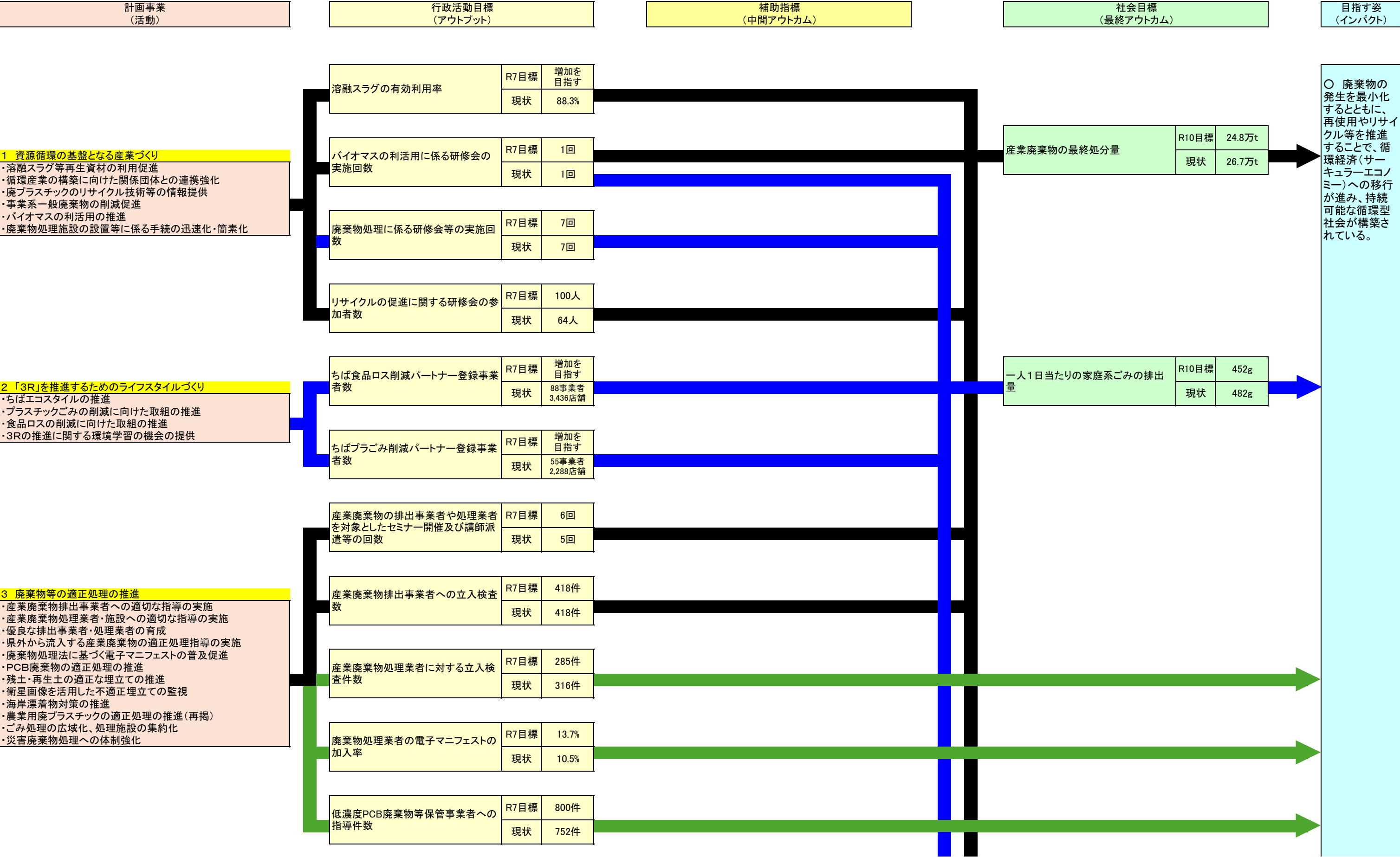
・熱中症対策の推進

・防災関係情報の提供(再掲)

クーリングシェルターの指定数	R7目標	増加を目指す
	現状	715施設



【ロジックモデル】
施策項目VI－1－② 循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行



4 不適正なヤードの一掃

- ・金属スクラップヤード等規制条例に基づく義務履行の指導・徹底
- ・有害使用済機器の適正処理指導の実施
- ・警察等関係機関と連携した自動車ヤードへの立入りの実施
- ・自動車ヤード条例に基づく義務履行の指導・徹底
- ・不法滞在外国人等への対応(再掲)

自動車ヤードの立入回数	R7目標	500回
	現状	524回
金属スクラップヤード等の立入回数	R7目標	280回
	現状	—

5 産業廃棄物の不法投棄の根絶に向けた監視・取締りの強化

- ・監視体制の強化
- ・市町村等との連携による監視の強化
- ・法令等違反に対する指導・取締りの推進
- ・不適正処理箇所における被害の拡大防止
- ・大規模不法投棄箇所の定期的な環境調査

産業廃棄物不法投棄防止に係る監視活動の実施	R7目標	24時間365日の監視活動の実施
	現状	24時間365日の監視活動の実施
大規模不法投棄箇所の調査	R7目標	8か所
	現状	8か所

6 再資源化に向けた県の実施の推進

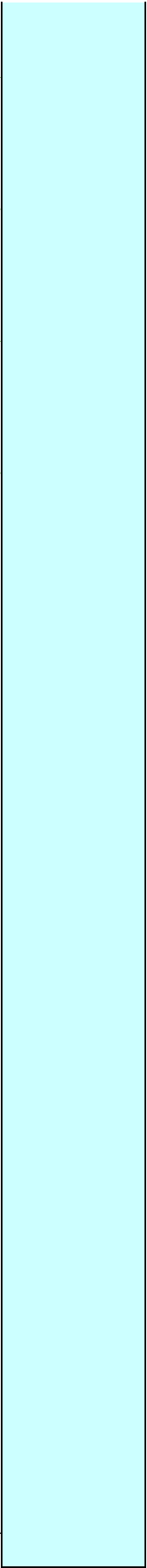
- ・建設廃棄物の再資源化や縮減の推進
- ・県営水道・工業用水道浄水発生土の再資源化の推進
- ・下水汚泥焼却灰の再資源化の推進
- ・下水処理水の有効利用の推進

建設廃棄物全体の再資源化・縮減率	R7目標	98%
	現状	98.4%
県営水道の浄水発生土の再資源化率	R7目標	100%
	現状	100%
工業用水道の浄水発生土の再資源化率	R7目標	100%
	現状	100%
下水汚泥の再資源化率	R7目標	69%
	現状	67%

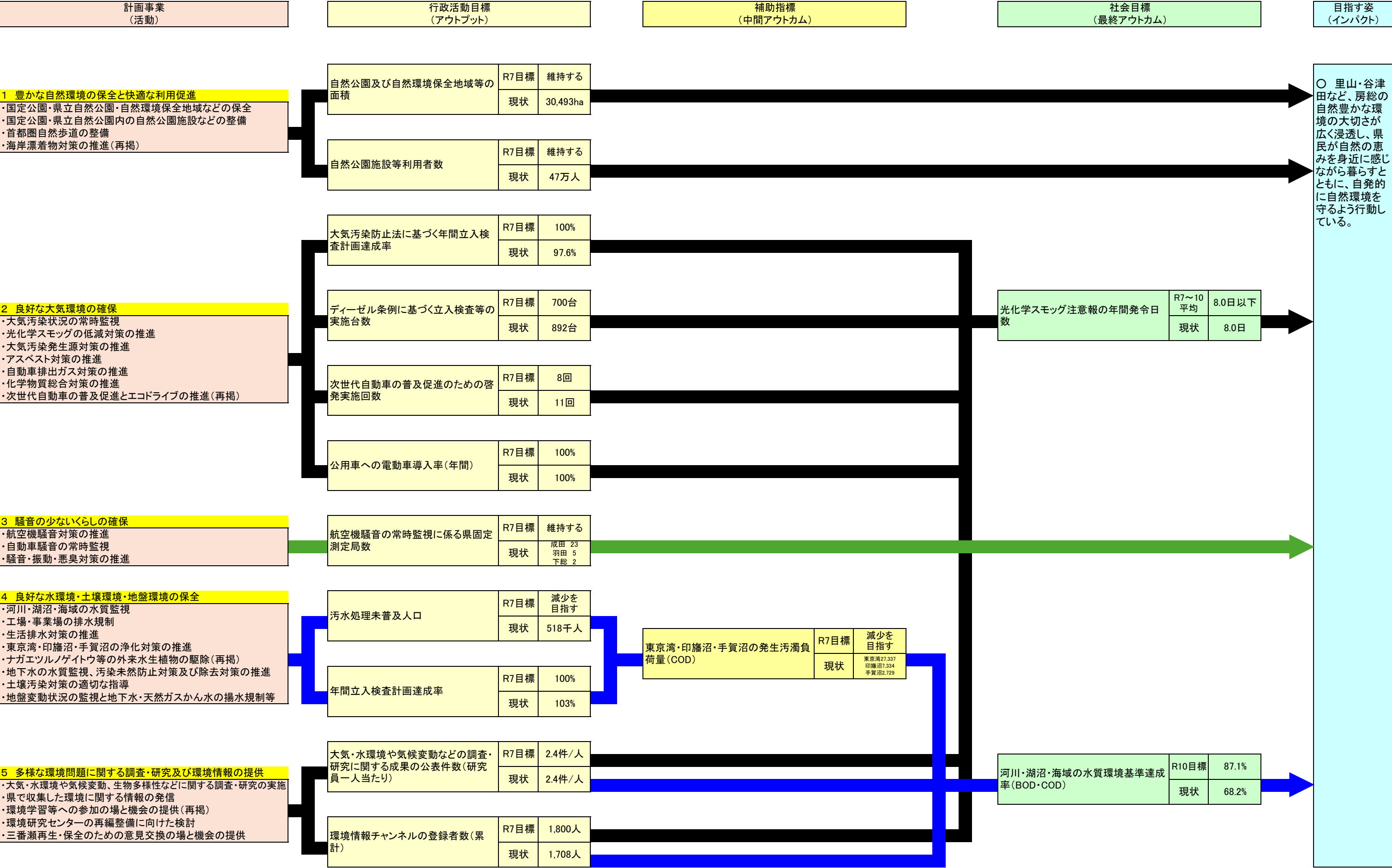
7 環境学習等の推進

- ・多様な主体との連携・協働による環境学習等の推進
- ・環境学習等を担う人材の育成と活用
- ・環境学習等への参加の場と機会の提供
- ・「ちば環境再生基金」の活用による環境保全活動の支援

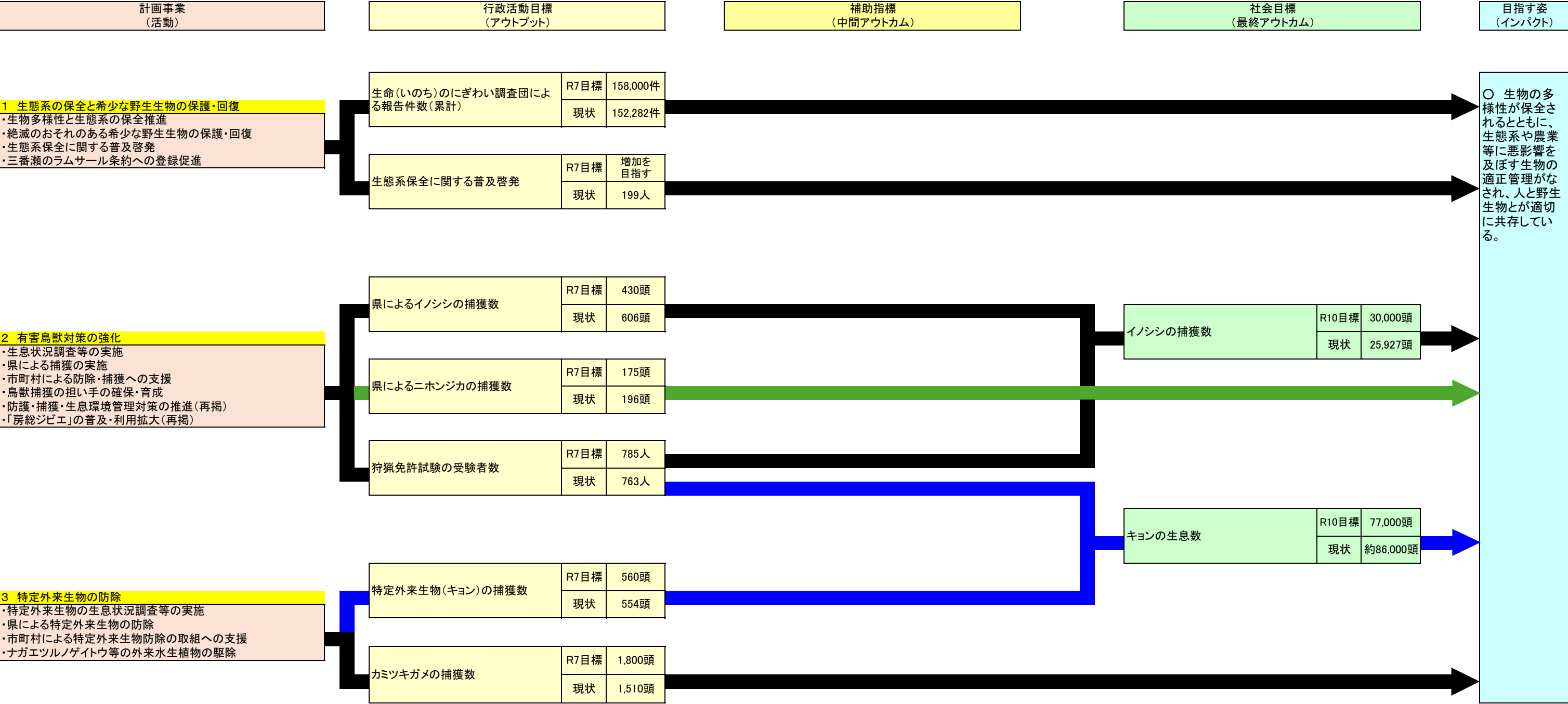
環境教育指導者養成研修の参加者数	R7目標	55人
	現状	45人
体験の機会の中で実施する体験活動の参加者数	R7目標	80人
	現状	80人
ちば環境再生基金による助成事業の実施件数	R7目標	70件
	現状	107件
里山での森林環境教育の活動団体数	R7目標	293団体
	現状	253団体



【ロジックモデル】
施策項目Ⅵ－２－① 豊かな自然環境と大気・水環境の保全

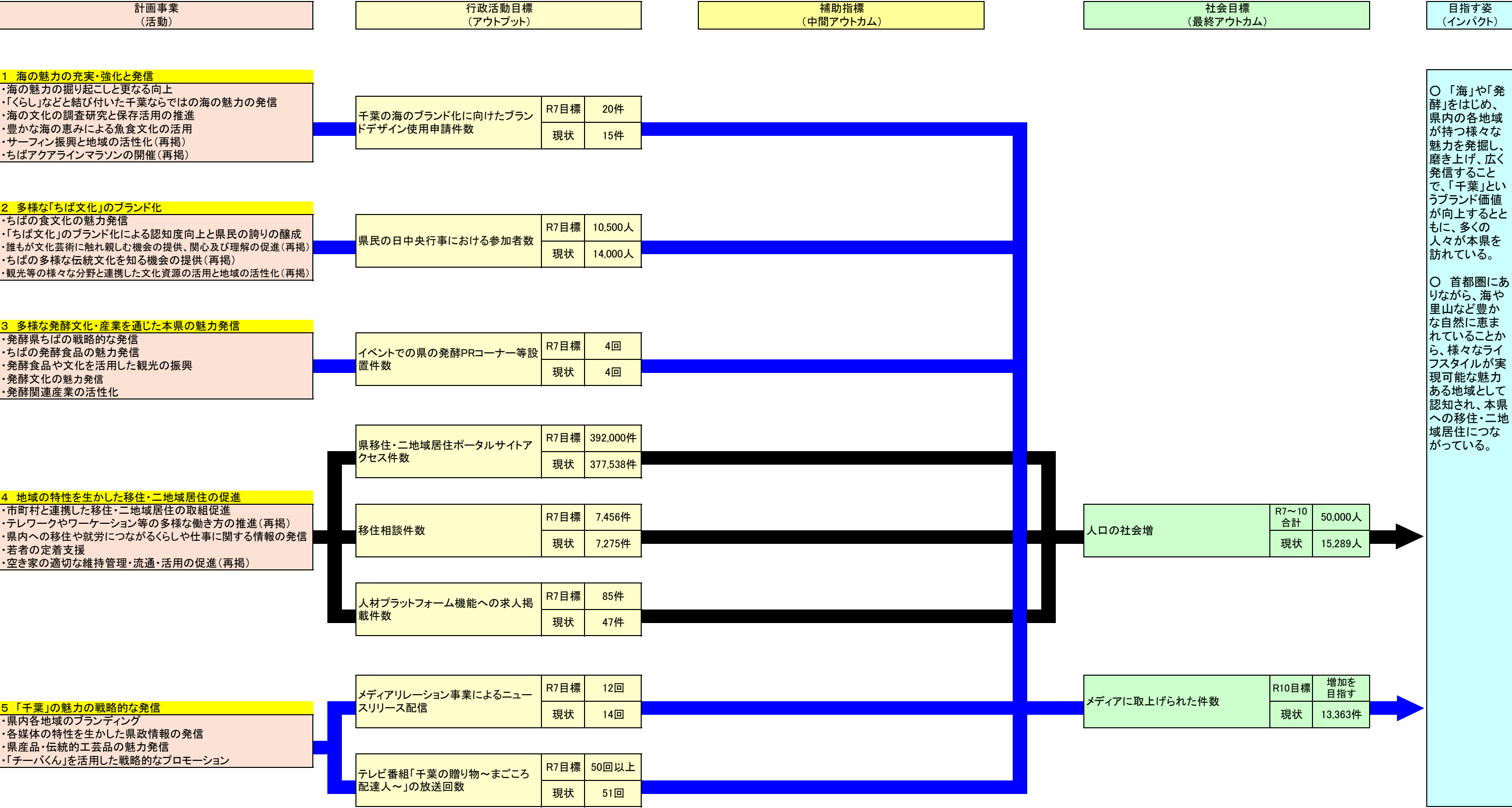


【ロジックモデル】
施策項目VI－2－② 野生生物の保護と適正管理

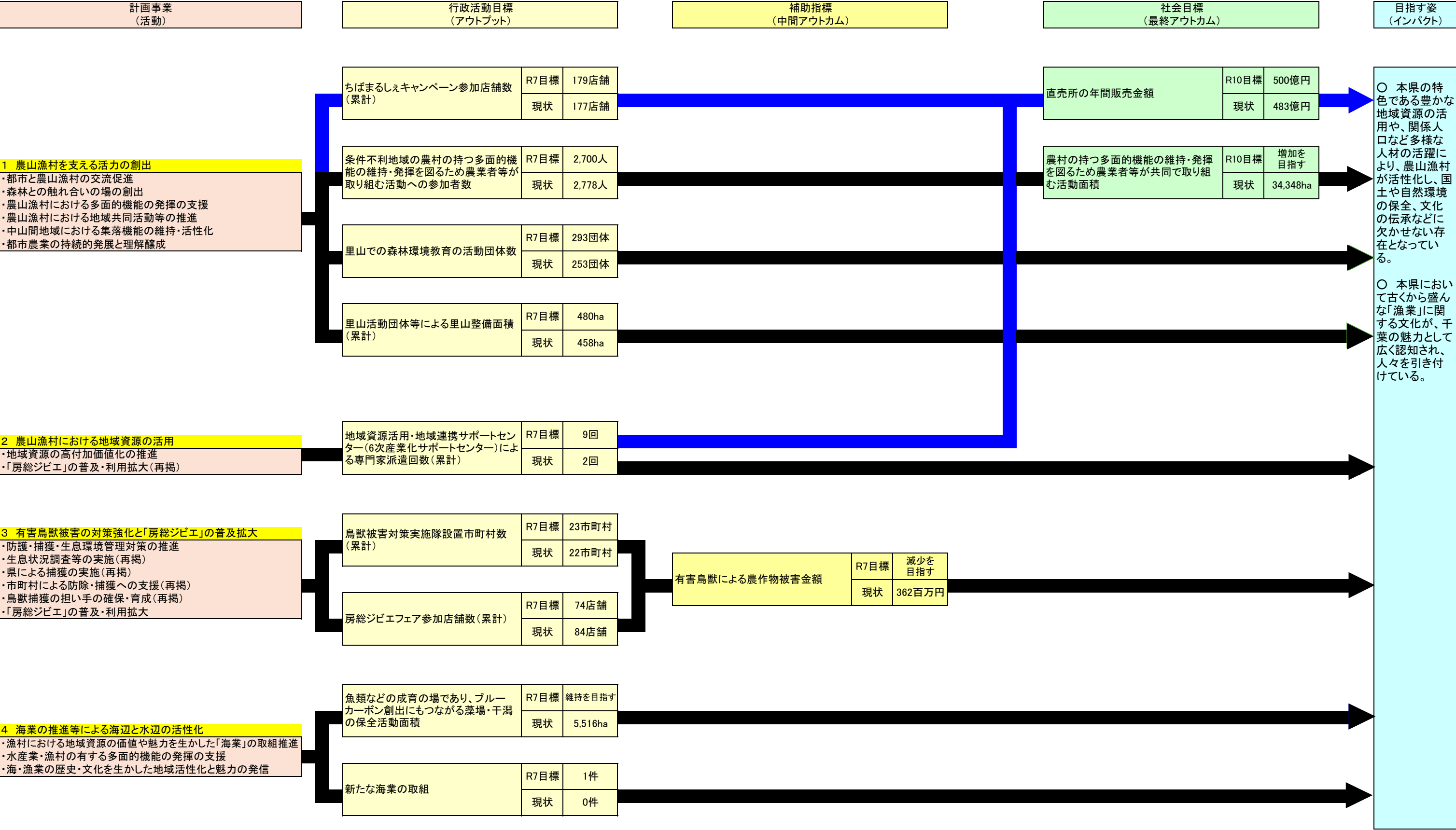


【ロジックモデル】

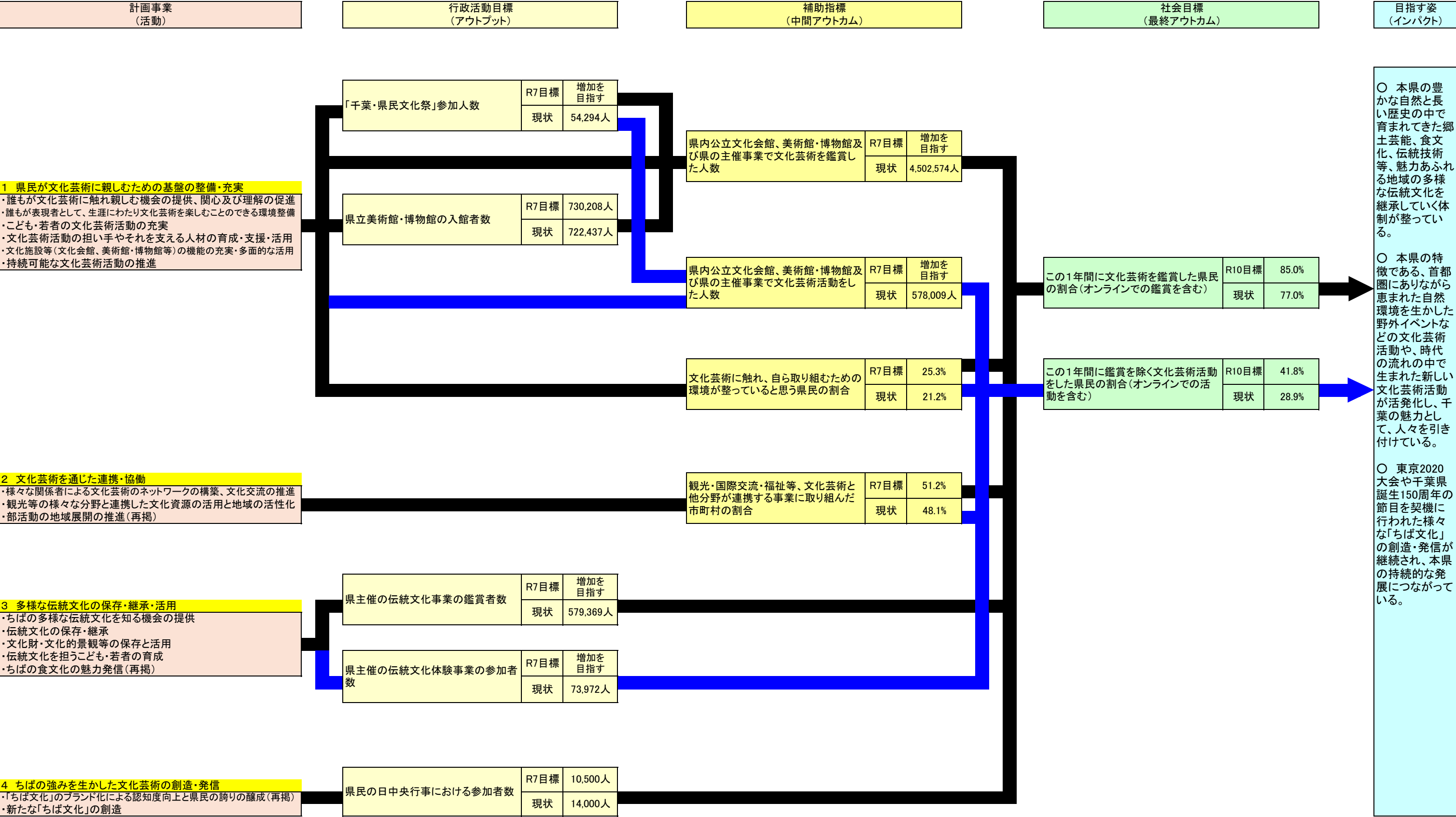
施策項目Ⅵ－3－① 半島性を活用した「千葉」のブランディングと移住・二地域居住の促進



【ロジックモデル】
施策項目VI－3－② 地域の特徴を生かした農山漁村の活性化



【ロジックモデル】
施策項目Ⅵ－４－① 文化芸術の振興



【ロジックモデル】
施策項目Ⅵ－４－② スポーツの振興

